					伤 争 未		<u> </u>				
		l年度実施の事務 (25年度評価実施		☐ サーI	ごス事業	プロシェクト	事業	定型事業	□投	資的事業	
会	計	区分(会計名	を記入)	☑ 一般会計	┼∐ 特別会訓	+()	□ 企業会計	·()	財務会計上 の短縮番号	2149
第分		期 実 施 計 画		2021	1		担当台	祁課名	福祉部	高齢•福祉	:総務課
			, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,				担当請	果長名		瀬谷 宗久	
		事業の概要									
施策					上・介護の充						
		施計画の事業名			待入浴事業						
		十上の事業名			待入浴事業	美					
事業	の文	対象【誰(何)を】		65歳以上の	の市民						
事業	色の手	=段【どうする(させる)ことで】	毎月2回(1	5日と30日)公衆浴場	を自己負担	200円で利	用		
事業	きの 目	目的【どのような結果	を得るか】	高齢者の交	ご流の場の 抗	是供、健康~	づくり				
実施	期間	il en		☑ 継 続	(昭和49年	度 ~)		□ 時 限	(平成	年度~平成	年度)
事業	内容	ぶの見直し のりゅうしん		☑実施	(直近)	平成22年度		□ 未 実 ∶	 施		
	※5	見直し内容を記入		国保加入者	音を対象から	廃止					
実施	根披	T.		□国・府	の制度	■国・府の制	度+市独自	の制度 🔽 ī	市独自の制度	Ę	
	※相	見拠となる法令の条項	までを記入								
2	事業	コスト・指標値の推	推移								
	2 事業コスト・指標値の推移 区分 22 年度 (決算) 23 年度 (決算) (決算) 24 年度 (決算) (決算) (決算)										
	事	事業費(千円)	<u> </u>	2,880	-	2,880		3,360		2,400	116.7%
	人	件 費 (人・千円)	0.27人	1,852	0.15人	1,200	0.10人	265	0.10人	265	22.1%
		正職員	0.20人	1,600	0.15人	1,200		0		0	0.0%
事	内	再任用短時間勤務職員	0.07人	252		0	0.05人	180	0.05人	180	_
兼コ	業 内	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
ス		非常勤職員		0		0	0.05.1	0	0.05.1	0	-
ト等	-	アルバイト E 出 合 計 A		4,732		4,080	0.05人	3,625	0.05人	2,665	88.8%
4		国·府支出金		1,102		1,000		0,020		2,000	-
	財										_
	源	その他財源									_
		一般財源		4,732		4,080		3,625		2,665	88.8%
	受益	益者負担率 B÷A									_
						2244	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	目標値
		区 分	内		容	単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
指標	(1)	□ 活動 ☑ 成果		利用者数		人	13,714	17,765	13,125	15,000	18,000
値	(2)	□ 活動 □ 成果									
	(3)	□ 活動 □ 成果									
	(4)	□ 活動 □ 成果									
		の達成状況						ı			
		標に向かって順調に推			内容・手法を		選択の	高齢者の交	で流の場の挑	是供が必要で	であるた
	□ B 目標に向かって順調に推移していない □ 2 現在の事業内容を継続 □ 理 由 め。 □ 3 事務事業を廃止 □ 3 事務事業を										
<u> </u>	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□										
(参	考)				済 の全てが可能		選択の	7. m.w. 19 14	カ人 エンナ ュ	II수	
		アウトソーシング導入	の可否		の一部が可能		理由	公萊浴場 	岛会委託事業		
				□ 4 不可	能						
4 :	担当	部長が考える今後	後の方向性	・見通し							
	評価を踏まえた課題と対策 (参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」										
敬老	(会育	官の利用促進 第一	敬老会館 <i>σ</i>)利用動向を	>基に事業	見直しの方	敬老会館の	D利用促進	第二敬老年	全館の利用	動向を基に
向	会館の利用促進、第二敬老会館の利用動向を基に事業見直しの方 事業見直しの方向										

					10 T A		'					
	24	年度実施の事務 (25年度評価実施	事業 包)	√ サーI	ごス事業	☐ プロジェクト∄	事業	定型事業	□投	資的事業		
会	計	区分(会計名:	を記入)	☑ 一般会計	│ 特別会詞	+()	□企業会計	·()	財務会計上 の短縮番号	2265	
第分		期 実 施 計 画 号 / 事業番号		2021	2		担当	部課名	福祉部	高齢•福祉	:総務課	
							担当	課長名		瀬谷 宗久		
		事業の概要										
施策					上・介護の充							
		施計画の事業名				等給付事業						
		上の事業名		高齢者日常	学生活用具	等給付事業						
事業	色の対	象【誰(何)を】		低所得で独	居や高齢	者のみの世	带					
事業	美の手	段【どうする(させる	5)ことで】	火災警報器	8、福祉電話	舌の貸出し、	給付					
事業	の目	的【どのような結果	を得るか】	火災予防、	事故の防山	上、日常生活	の向上を図	図る				
実施	期間]		✓継続	(平成 年	三度 ~)		□ 時 限	(平成	年度~平成	年度)	
事業	内容			□ 実施	(直近)	平成 年	 变	☑未実∶	 施			
	※見	し直し内容を記入										
実施	根拠	<u>L</u>		□国・府	の制度	☑ 国•府の制	度+市独自		 市独自の制度	E		
	※根	拠となる法令の条項	までを記入	老人福祉法	上第3条							
2 1	事業	コスト・指標値の推	维移	·								
	22 年度 23 年度 24 年度 25 年度 194/1423											
			(決	算)	(決	算)	(決算)		(予	算)	H24/H23	
		業 費(千円)		177		165		160		231	97.0%	
	人	件 費 (人・千円)	0.07人	560	0.11人	880	0.10人	780	0.10人	780	88.6%	
		正職員	0.07人	560	0.11人	880	0.10人	780	0.10人	780	88.6%	
事業	内	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	_	
未コ	訳	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	_	
ス		非常勤職員		0		0		0		0	_	
ト 等	士	アルバイト : 出 合 計 A		737		1,045		940		1,011	90.0%	
4		国•府支出金		101		1,040		340		1,011	90.0%	
	₽₩	受益者負担 B										
	1	その他財源									_	
		一般財源		737		1,045		940		1,011	90.0%	
	受益	者負担率 B÷A				· ·				·	_	
							22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	目標値	
		区 分	内		容	単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	日保旭 (H26)	
指	(1)	□ 活動 ☑ 成果		福祉電話		台	8	8	8	10	10	
標値	(2)	□活動□戍朱□□活動□戍果	目	常生活用具	· 等	台	0	0	0	2	2	
III	(3)	□ 活動 □ 成果										
	(4)	□ 活動 □ 成果										
3 J	龙果	 の達成状況						·				
	☑ A 目標に向かって順調に推移している □ 1 事業内容・手法を改善 選択の 給付台数は減少しているものの、扶助の観											
_		標に向かって順調に推	移していない			継続	選択の 理 由	お付台数に 点から必要		いるものの、{	大切の観	
<u> </u>	C 判	断できない		_	事業を廃止			1				
(参 今後		アウトソーシング導力	人の可否		の全てが可能 の一部が可能		選択の 理 由	給付は単発 を貸与して		祉電話は池	田市名義	
4 1	11 当	 部長が考える今後	多の方向性					1				
- 1	∸⊐		を踏まえた				(参考)[作年度記載	の「評価を路	当まえた課題	と対策」	
給付	付台数は減少しているものの、扶助の観点から必要事業 給付台数は減少しているものの、扶助の観点から必要事業 業											

					10 7 2	* HT IM						
	24	年度実施の事務 (25年度評価実施	事業	✓ サー	ごス事業	☐ プロジェクト ^ュ	事業	定型事業	□投	資的事業		
会		区分(会計名:	を記入)	☑一般会討	廿□ 特別会	: ā †()	□企業会計	-()	財務会計上 の短縮番号	2270	
第 分 [‡]		期 実 施 計 画: 号/事業番号		2021	3		担当	部課名	福祉部	高齢•福祉	総務課	
						.	担当	課長名		瀬谷 宗久		
		事業の概要										
施策		I de la desilla de		高齢者福祉								
		施計画の事業名		高齢者緊急								
		上の事業名		高齢者緊急			wr - 111 411.					
事業	の対	象【誰(何)を】		65歳以上の	り独居また	は高齢者の	みの世帯					
事業	の手	段【どうする(させる	5)ことで】	緊急時に消	肖防本部へ	繋がる緊急	通報装置(~	ペンダント)を	貸出し			
		的【どのような結果	を得るか】			態に対応する	5					
実施	期間]		☑継続	(平成	年度 ~)		□ 時 限	(平成	年度~平成	年度)	
事業	内容	の見直し		☑実施	(直近) 平成21年月	吏	□未実∶	施			
	※見	直し内容を記入		非課税世帯	寺への一部	『負担の導入	(負担なしば	は生活保護の	かみ)			
実施	根拠	L		□国・府	の制度	□ 国・府の制	度+市独自	の制度 🔽 ī	市独自の制度	Ę		
	※根	拠となる法令の条項	までを記入	池田市高齢	令者 日常生	E活用具給付	等事業実施	近要綱				
2 4	事業	コスト・指標値の丼	<u></u> 推移				== \					
	区 分 22 年度 (決算) 23 年度 (決算) 24 年度 (決算) 25 年度 (決算) H24/H23											
			(決		(ž		(決		(予:			
事業		# 費 (千円) 件 費 (人·千円)	0.37人	6,746	0.01	6,658	0.15 /	6,275	0.204	7,054	94.2%	
	<u>人</u>	正職員	0.37人	2,350 2,160	0.21 <i>)</i> 0.11 <i>)</i>		0.15人	560 390	0.30人	940 390	51.9%	
		再任用短時間勤務職員	0.21/	0	0.117	000	0.007	0	0.007	0	-	
	内	任期付短時間勤務職員		0		0		0	0.05人	140	_	
コス	訳	非常勤職員		0		0		0	0.10人	240	_	
<u>ト</u>		アルバイト	0.10人	190	0.10 <i>/</i>	200	0.10人	170	0.10人	170	85.0%	
等	支	出合計A		9,096		7,738		6,835		7,994	88.3%	
		国•府支出金										
		受益者負担 В									_	
	源	その他財源		9,096		7 720		6 925		7 004	- 00.0%	
	受 犬	一般財源 者負担率 B÷A		9,096		7,738		6,835		7,994	88.3%	
	又皿	CARET DIA				1						
		区 分	内		容	単位	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	目標値	
指	(4)						(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)	
指標は	(1) (2)	□ 活動 □ 成果		設置台数		台	454	434	404	450	500	
値	(3)	□ 活動 □ 成果□ 成果□ □ 活動 □ 成果										
	(4)	□ 活動 □ 成果										
3 Б		の達成状況				•		·!		J		
		標に向かって順調に推	移している	1 事業	内容・手法	を改善)33 [H -		で消防本部			
_		標に向かって順調に推		☑ 2 現在	の事業内容	を継続	選択の 理 由		た24時間体 を備えたシ			
	判	断できない		3 事務	事業を廃止			充実が必要			. , , , , , ,	
(参え 今後		アウトソーシング導力	の可否	✓ 1 導入済☐ 2 事業の全てが可能☐ 3 事業の一部が可能☐ 4 不可能			選択の 理 由	大阪ガスセ	キュリティサ	・ービスに委	託	
4 ‡	11	 部長が考える今後	後の方向性	· 見通し				•				
_ 1	評価を踏まえた課題と対策 (参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」											
		La III III - SS					ボタン一~	一一一	 くにつかがり		<u>———</u> 役立ち す	
今後 応可	後高齢者世帯の増加が見込まれる中、当事業は緊急事態に即座に対 で24時間体制で保健師が対応する相談機能を備えたションでがあるため更なる充実を望む。 で24時間体制で保健師が対応する相談機能を備えたシステムであり今後とも充実が必要											

	24年度実施の事務事業 (25年度証価実施) □ サービス事業 □ プロジェクト事業 □ 定型事業 □ 投資的事業												
	24	年度実施の事務 (25年度評価実施	事業	√ サーt	ごス事業	プロジェクトョ	事業	定型事業	□投	資的事業			
会		区分(会計名	を記入)	☑ 一般会計	廿□ 特別会訂	+()	□企業会計	+()	財務会計上 の短縮番号	2295		
第分		期 実 施 計 画 : 号 / 事 業 番 号 /		2021	4		担当台	部課名	福祉部	高齢•福祉	:総務課		
				:			担当記	果長名		瀬谷 宗久			
1 4	事務	事業の概要											
施策	名			高齢者福祉	Ŀ・介護の充	実							
第1其	明実力	施計画の事業名		敬老のつど	い開催事業	É							
財務	会計	上の事業名		敬老のつど	い開催事業	É							
事業	の対	象【誰(何)を】		65歳以上の	の高齢者								
事業	の手	段【どうする(させる	5)ことで】	高齢者の福		あたり、敬老	のつどいを	開催する					
事業	の目	的【どのような結果	を得るか】	高齢者に染	 ELいひとと	きを過ごして	いただく						
実施	期間]		✓継続	(昭和51年	度 ~)		□ 時 限	(平成	年度~平成	年度)		
事業	内容	 『の見直し		✓実施	(直近)	平成22年度	F E	□未実	 施	·			
	※見	直し内容を記入		会場を、文	化会館から	敬老会館に	変更						
実施	根拠	<u> </u>		✓ 国•府	の制度	■■・府の制	度十市独自	の制度 🔲 i	 市独自の制度				
	※根	-拠となる法令の条項	までを記入	老人福祉法	法第5条								
2 1	丰業 :	コスト・指標値の推	維移										
	- A		22 ⁴		23 4		24 4	年度	25 4	丰度	1104/7755		
		区 分	(決:						l		H24/H23		
事業	事	業 費(千円)		500		700		700		949	100.0%		
	人	件 費 (人・千円)	0.23人	922	0.15人	1,200	0.20人	740	0.25人	880	61.7%		
		正職員	0.06人	480	0.15人	1,200	0.05人	390	0.05人	390	32.5%		
	.1.	再任用短時間勤務職員	0.07人	252		0	0.05人	180	0.05人	180	_		
	内訳	任期付短時間勤務職員		0		0		0	0.05人	140	-		
コス	口人	非常勤職員		0	922 0.15人 1,200 0.20人 740 0.25人 880 480 0.15人 1,200 0.05人 390 0.05人 390 252 0 0.05人 180 0.05人 180 0 0 0 0.05人 140 0 0 0 0 0 190 0 0.10人 170 0.10人 170	_							
<u>ト</u>		アルバイト	0.10人	190		0	0.10人	170	0.10人	170	-		
等	支	出合計A		1,422		1,900		1,440		75.8%			
		国·府支出金									-		
	財	受益者負担 B									-		
	源	その他財源									-		
		一般財源		1,422		1,900		1,440		1,829	75.8%		
	受益	者負担率 B÷A									_		
							22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	目標値		
		区 分	内		容	単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)		
指標	(1)	□ 活動 ☑ 成果		入場者数		人	450	446	516	1,000	1,000		
標値	(2)	□ 活動 □ 成果		7 (7) 11 3)(100	110	010	1,000	1,000		
吧	(3)	□活動□成果											
	(4)	□活動□成果											
3 F													
_		標に向かって順調に推	移している	√ 1 事業	内容・手法を	改善							
_		標に向かって順調に推			の事業内容を		選択の 理 由	案内ハガキ	・の廃止 4年度は敬き	女公给六甲	(定		
	こ判	断できない		□3 事務	事業を廃止		连 田	十	4十段は収~	七云阳 (用)	住		
				✓ 1 導入	 済								
(参	考)			=	・・ の全てが可能		選択の	リハナだ古丘	4. 大小長爾日	4回に夭紀			
		アウトソーシング導入	の可否	□3 事業(の一部が可能		理由	いた田氏	之化振興則	7凹に安託			
				□ 4 不可	能								
4 ‡	旦当:	部長が考える今後	後の方向性	・見通し									
		評価	を踏まえた	課題と対策			(参考)	作年度記載	の「評価を路	当まえた課題	[と対策]		
	·o= -		ر 11 ماليو بدر مساوط د العالم بدر مساوط				`z.						
平成 聞い	.25年 て対	三度は市民文化会館 応を検討。	目での実施を	产产定。今後	爱、参加者 <i>页</i>)ニーズを	参加者増に向け、会場の変更等を検討			討			

			- La SHA		17 T A						
		年度実施の事務 (25年度評価実施		☑ サーI	ビス事業	☐ プロジェクトヨ	事業	定型事業	□投	資的事業	
会		区分(会計名		☑ 一般会計	┼□ 特別会詞	:+()	□企業会計	-()	財務会計上 の短縮番号	2300
第分		期 実 施 計 画: 号/事業番号	i で の / 枝番号	2021	5		担当台	邻課名	福祉部	高齢•福祉	:総務課
						:	担当請	果長名		瀬谷 宗久	
		事業の概要									
施策					止・介護の充						
		施計画の事業名			祝品給付事						
		上の事業名		長寿祝金・	祝品給付事	業					
事業	の対	象【誰(何)を】		祝金 88、	100、101歳	以上 祝品	5 90、99歳				
事業	の手	段【どうする(させる	5)ことで】	祝金:民生	委員の家庭	訪問、市長	の高齢者名	E訪問時に	手渡し。祝品	:宅配	
事業	の目	的【どのような結果	を得るか】	節目の年を	迎えた方の)長寿を祝う					
実施	期間]		✓継続	(平成9年月	度 ~)		□ 時 限	(平成	年度~平成	定 年度)
事業	内容	の見直し		☑実施	(直近)	平成23年月	¥	□未実	———— 施		
	※見	直し内容を記入		80歳祝品の)廃止						
実施	根拠	L		□国・府	の制度	■■・府の制	度+市独自	の制度 🔽	市独自の制度	Ę	
	※根	拠となる法令の条項	までを記入	池田市長寿	导祝金条例						
2 -	事業	コスト・指標値の扌	進移								
		区 分	22 4	23 年 (決算) (決算)			24 年度 (決算)		25 年度 (予算)		H23/H22
	事	葉 費(千円)		9,625		8,504		15,432		10,903	181.5%
	人	件 費 (人・千円)	0.26人	1,772	0.26人	1,780	0.20人	530	0.25人	670	29.8%
		正職員	0.19人	1,520	0.21人	1,680		0		0	0.0%
事業	内	再任用短時間勤務職員	0.07人	252		0	0.10人	360	0.10人	360	_
業コ	訳	任期付短時間勤務職員		0		0		0	0.05人	140	_
ス		非常勤職員		0		0		0		0	_
} **	+	アルバイト		11.207	0.05人	100	0.10人	170	0.10人	170	170.0%
等	又	出合計A		11,397		10,284		15,962		11,573	155.2%
	財	国·府支出金 受益者負担 B									_
	1.4	その他財源									_
		一般財源		11,397		10,284		15,962		11,573	155.2%
	受益	者負担率 B÷A		·				<u> </u>		·	_
							22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	目標値
		区 分	内		容	単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	日1宗他 (H26)
指	(1)	□ 活動 ☑ 成果		祝金対象者	<u>.</u>	人	331	348	645	479	500
標値	(2)	□活動□成果		祝品対象者		人	937	310	258	310	0
IIE.	(3)	□ 活動 □ 成果		対象者 計		人	1,268	658	903	789	500
	(4)	□ 活動 □ 成果									
3)	 成果	の達成状況									
	4 目	標に向かって順調に推	移している	☑ 1 事業	内容・手法を	改善	2011年				
□ I	3 目	標に向かって順調に推	移していない	□ 2 現在	の事業内容を	·継続	選択の 理 由	80歳祝品の)廃止		
	2 判	断できない		□3 事務	事業を廃止						
	٠ ساد			✓ 1 導入				I		- I	
(参)		アウトソーシング導 <i>】</i>	の可不		の全てが可能		選択の 理 由	祝金の配布 委託	が民生委員	員、祝品の酢	己布は業者
71	スマノノ	テロン・マイク 特力	ハ ソ 引 百		の一部が可能 能	Ĕ		女儿			
<u>4</u>	担当:	部長が考える今後	後の方向性		nú		<u> </u>	<u> </u>			
		評価	を踏まえた	課題と対策			(参考)日	作年度記載	の「評価を路	yまえた課題	と対策」
		会を迎え、更なる			る中、金額・	·配布方法	高齢化社会	会を迎え、給	付事業につ	ついては総合	計的な見地
等に	つき	、事業再構築を検	討する必要'	性あり			からの事業	再構築を検	訂する必要	と性あり	

		年度実施の事務 (25年度評価実施			ごス事業	☐ プロジェクト [‡]	事業	定型事業	□投	資的事業	
会	計	区分(会計名)	を記入)	☑ 一般会計	├── 特別会	計 ()	□企業会計	·()	財務会計上 の短縮番号	2305
第分		期 実 施 計 画 号/事業番号/		2021	6		担当台	祁課名	福祉部	高齢•福祉	-総務課
				-		:	担当詞	果長名		瀬谷 宗久	
1 4	事務	事業の概要				·					
施策	名			高齢者福祉	上・介護のヨ	范実					
第1其	明実	施計画の事業名		金婚祝賀会	常開催事業						
財務	会計	十上の事業名		金婚祝賀会	:開催事業						
事業	の対				 手を迎えた	 夫婦					
事業	の手	-段【どうする(させる)ことで】	結婚50周年	手を迎えた	夫婦を招き、	祝賀会を開	催し祝う			
事業	の目	的【どのような結果	を得るか】	高齢者福祉	上の増進を	図る					
実施	期間			✓継続	(昭和54年	F度 ~)		□ 時 限	(平成	年度~平成	年度)
事業	内容	 Fの見直し		□実施	(直近)	平成年	 度	✓ 未実	———— 施	<u> </u>	
		し直し内容を記入			(
実施	根拠	L		国•府	 の制度	□ 国・府の制	度+市独自	の制度 ☑ ī	 市独自の制度	 [
		- !拠となる法令の条項	までを記入								
2 1		コスト・指標値の推									
	尹禾		±139 22 £	F度	24 4	年度	25 £	丰度 1			
		区 分				- 算)	(決				H24/H23
事業コ	事	革業費(千円)		768		778		811		786	104.2%
	人	件 費 (人・千円)	0.26人	1,162	0.12人	660	0.25人	920	0.25人	920	139.4%
		正職員	0.09人	720	0.07人	560	0.05人	390	0.05人	390	69.6%
	+	再任用短時間勤務職員	0.07人	252		0	0.10人	360	0.10人	360	_
	内訳	任期付短時間勤務職員		0		0		0		子算) 786 920 390 360 0	-
コス	н/ С	非常勤職員		0		0		0		0	_
卜		アルバイト	0.10人	190	0.05人	-	0.10人	170	0.10人		170.0%
等	支	出合計A		1,930		1,438		1,731		1,706	120.4%
		国•府支出金							-		_
		受益者負担 В							-		-
	源	C > 100713 1031									_
	= V	一般財源		1,930		1,438		1,731		1,706	120.4%
	受益	在者負担率 B÷A									-
		F	يا.		<u>_</u>)\\ /\ ₁	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	目標値
		区 分	内		容	単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
指標	(1)	□ 活動 ☑ 成果		出席者数		人	176	122	162	190	230
値	(2)	□ 活動 □ 成果									
	(3)	□ 活動 □ 成果									
	(4)	□ 活動 □ 成果									
3):	戊果	の達成状況									
$ \sqrt{} $	4 目	標に向かって順調に推	移している	1 事業	内容・手法を	改善	選択の	出席者から	ナ亦➤の車	*************************************	ており A
		標に向かって順調に推	移していない				理由	後も継続予		**************************************	0 (439)
)判	断できない			事業を廃止						
/ /> -	Lur \			✓ 1 導入			\				
(参		アウトソーシング導入	の司不		の全てが可能		選択の 理 由	文化会館委	託事業		
712	、 マノノ	・テロン ママク 特力	(マノ 引 百)	□ 3 事業	の一部が可怜 能	ĦE					
<u>4</u> 扫	旦当	部長が考える今後	<u></u> 後の方向性				<u> </u>	<u> </u>			
			を踏まえた				(参考)日	作年度記載	の「評価を路	当まえた課題	[と対策」
						山中本小~1ボ~の古光ルギばレーカル へが			公子 分かをキュ		
出席	者か	ら大変この事業は	喜ばれてお	り、今後も維	^拯 続予定		出席者から大変この事業は喜ばれており、今後を定			医も継続す	

		年度実施の事務		-			±₩			次仏古光	
		(25年度評価実施	<u>tī)</u>			プロジェクト ヨ	事業	」定型事業		資的事業	
		区分(会計名)		☑ 一般会計	┼□ 特別会	! +()	□ 企業会計	-()	財務会計上 の短縮番号	2310
第分		期 実 施 計 画 号 / 事業番号 /	『で の / 枝番号	2021	7	1	担当	部課名	福祉部	高齢•福祉	総務課
							担当記	課長名		瀬谷 宗久	
		事業の概要		국 IN 국 IZI	1 A# 0 +						
施策		施計画の事業名		高齢者福祉友愛クラブ		产					
		他計画の事業名 ├上の事業名		及後クラブ 老人クラブ ·							
		<u>上の事業名 </u> 象【誰(何)を】				30人以上の	カラブ				
		上段【どうする(させる)ことで 】	活動に伴う							
事業	の目	的【どのような結果	を得るか】	高齢者の生 づくりの促え		動の助長、社	会参加の位	足進、健全な	は団体の育成	えによる活力	かる地域
実施	期間]		☑継続	(平成3年)	度 ~)		□ 時 限	(平成	年度~平成	年度)
事業	内容	の見直し		☑実施	(直近)	平成23年度	¥	□未実	 施		
	※見	し直し内容を記入				いれあいサロ 牙補助金の増		追加し、新規	会員増加を	図り、老人	クラブの活
	根拠					✓ 国・府の制	度+市独自	の制度	市独自の制度		
	※根	拠となる法令の条項	までを記入	老人福祉法	去第4条、第	5条					
2 事業コスト・指標値の推移 22 年度 23 年度 24 年度 25 年度 1004/1000											
		区 分	22 ⁴ (決		23 年度 (決算)		24 年度 (決算)		25 ^年 (予:		H24/H23
	事	事業費(千円)	(0)	7,623	(0)	8,501	()	8,558	(1)	8,791	100.7%
事業	人	件 費 (人・千円)	0.24人	1,310	0.21人	1,080	0.15人	865	0.30人	1,210	80.1%
		正職員	0.14人	1,120	0.11人		0.10人	780	0.10人	780	88.6%
	内	再任用短時間勤務職員 任期付短時間勤務職員		0		0		0	0.05.1	0	_
コ	訳	非常勤職員		0		0		0	0.05人	140 120	
スト		アルバイト	0.10人	190	0.10人		0.05人	85	0.00人	170	42.5%
- 等	支	出合計A	, ,	8,933	,	9,581	7 1			10,001	98.4%
		国•府支出金		1,595		2,242		2,449		2,417	109.2%
	財源	受益者負担 B									_
	初东	その他財源 一般財源		7,338		7,339		6,974		7,584	95.0%
	受益	者負担率 B÷A		1,000		1,003		0,311		1,001	-
							22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	目標値
		区 分	内		容	単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
指標	(1)	□ 活動 ☑ 成果		会員数		人	3,143	3,068	2,995	3,500	3,500
値	(2)	□ 活動 □ 成果									
	(3)	□活動□成果									
າ ·	(4) ₽ ■	□□活動□□成果□									
_		の達成状況 標に向かって順調に推	投している	□ 1 重業	内容・手法を	- 油盖		1			
E	3 目	標に向かって順調に推		=		選択の 理 由		こもりがちの 今後とも継ん		社会参加に	
	ノ 刊	断できない		✓ 1 導入				<u> </u>			
(参 今後		アウトソーシング導入	の可否	□ 2 事業	の全てが可能 の一部が可能		選択の 理 由		務局に事務職 は制を確立し		し、独立し
4 ‡	担当	 部長が考える今後	 後の方向性				<u> </u>	ı			
_ •			を踏まえた				(参考)	作年度記載	の「評価を路	ぎえた課題	[と対策]
自宅 必要 る。	Eに引きこもりがちの高齢者の社会参加に繋がるため今後とも継続が 等である。会員数増加・活動の活性化に向け、今後の活動に期待す 。 。 自宅に引きこもりがちの高齢者の社会参加に繋がるため 今後とも継続が必要である。会員数増加・活動の活性化 に向け、新たに立ち上げた若手委員会の活動に期待す る。										

				- J -	77 T A	: pr m	'					
		年度実施の事務 (25年度評価実施		✓ サー	ビス事業	☐ プロジェクトヨ	事業	定型事業	□投	資的事業		
会		区分(会計名)	を記入)	☑一般会計	┼□ 特別会詞	 ()	□企業会計	+()	財務会計上 の短縮番号	2325	
第分		期 実 施 計 画 号 / 事業番号 /		2021	7	2	担当台	部課名	福祉部	高齢•福祉	総務課	
							担当請	果長名		瀬谷 宗久		
		事業の概要										
施策	名				止・介護の充							
第1	胡実	施計画の事業名		シルバー人	、材センター	·補助事業						
財務	会計	・上の事業名		シルバー人	、材センター	·補助事業						
事業	の対	象【誰(何)を】		おおむね6	0歳以上の	市民を会員	とする(社)汎	也田市シルノ	ベー人材セン	ノター		
事業	の手	段【どうする(させる	5)ことで】	高齢者に就 業の機会を		是供(斡旋)、	するシルバ・	一人材センタ	ターの運営を	を助成し、高	所齢者に就	
事業	の目	的【どのような結果	を得るか】	高齢者の能	と 力活用と福	富祉の増進を	を図り、活力	ある地域社	会づくりを追	色める。		
実施	期間			☑継続	(平成2年)	度 ~)		□ 時 限	(平成	年度~平成	年度)	
事業	内容	 の見直し		☑実施		平成24年月	¥	□未実	 施	·		
	※見	直し内容を記入			· · · · · · ·	ーの収益分						
実施	根拠	<u> </u>		□■■・府	の制度		度十市独自	の制度 □ i	 市独自の制度			
	※根	拠となる法令の条項	までを記入	 高齢者の履								
	事業コスト・指標値の推移 22 年度 23 年度 24 年度 25 年度 H24/H23											
		区 分	(決		l	(決算)		(決算)		算)	H24/H23	
	事	業 費(千円)		22,200		27,980		26,087		26,070	93.2%	
車	人	件費(人・千円)	0.27人	1,852	0.11人	880	0.15人	960	0.10人	570	109.1%	
		正職員	0.20人	1,600	0.11人	880	0.10人	780	0.05人	390	88.6%	
事		再任用短時間勤務職員	0.07人	252		0	0.05人	180	0.05人	180	-	
業	内訳	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	_	
コス	D/X	非常勤職員		0		0		0		0	-	
下		アルバイト		0		0		0		0	_	
等	支	出合計A		24,052		28,860		27,047		26,640	93.7%	
		国·府支出金									-	
		受益者負担 B									-	
	源	その他財源									_	
	= 1/	一般財源		24,052		28,860		27,047		26,640	93.7%	
	受益	者負担率 B÷A									-	
		F //	.1.			2771.	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	目標値	
		区 分	内		容	単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)	
指標	(1)	□ 活動 ☑ 成果		会員数		人	599	615	583	600	700	
値	(2)	□ 活動 □ 成果										
	(3)	□ 活動 □ 成果										
	(4)	□ 活動 □ 成果										
3 J	成果	の達成状況						-		-		
V	☑ A 目標に向かって順調に推移している □ 1 事業内容・手法を改善 □ 3 見景に対し、大阪電視性がなり、大阪では、大阪では、大阪では、大阪では、大阪では、大阪では、大阪では、大阪では											
	3 目	標に向かって順調に推	移していない	☑ 2 現在	の事業内容を	·継続	選択の 理 由		Tガ 息 欲 は st ていく必要:		发どもこの争	
	2 判	断できない		□3 事務	事業を廃止			71 、				
				☑ 1 導入	——— — 済							
(参		→ 1.3 .) · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	~ 		の全てが可能		選択の	シルバー人	、材センター	に委託済		
今後 	女のフ	プウトソーシング導入	の可否	l —	の一部が可負	Ė	理由		-14 /	. 24401		
	41 N/A		* ~ !!		ĦĒ							
4 1	旦当	部長が考える今後					(佐任唐記書	の「証価去り	X 主 う た 細 耳	ラング・キュー	
		一一一一一一	で囲みんだ	た課題と対策			(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」				SCNW]	
				「能な制度とするためにも、今後も国			国の補助金の動向により 検討していく方向					
		注視する必要があ		Eな制度とするためにも、今後も 国			国の補助金の動向により、検討していく方向					

		24年度実施の事務事業 ロージョネボ ロージョネ ボール・ロージョネ ボール・ロージョネ ボール・ロージョネ ボール・ロージョネ ボール・ロージョネ エー・ロージョネ エー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー												
	24	·年度実施の事務 (25年度評価実施	事業	✓ サーI	ごス事業	☐ プロジェクト∄	事業	定型事業	□投	資的事業				
会		区分(会計名)	を記入)	☑ 一般会計	┼□ 特別会詞	+()	□企業会計	·()	財務会計上 の短縮番号	2330			
第分	1 頃番	期 実 施 計 画 号/事業番号		2021	8		担当台	部課名	福祉部	高齢•福祉	:総務課			
							担当記	果長名		瀬谷 宗久				
		事業の概要												
施策					上・介護の充									
第1其	明実	施計画の事業名		在日外国力	高齢者福	祉金給付事	業							
財務	会計	上の事業名		在日外国力	高齢者福	祉金給付事	業							
事業	の対	象【誰(何)を】		大正15年4	1月1日以前	j生まれで公	的年金のな	い在日外国	国人					
事業	の手	段【どうする(させる	5)ことで】	国制度の対	†象外の在	日外国人高	齢者に福祉	:金を給付						
事業	の目	的【どのような結果	を得るか】	在日外国力	、高齢者の	福祉の増進	を図る							
実施	期間]		☑継続	(平成7年月	度 ~)		□ 時 限	(平成	年度~平成	年度)			
事業	内容	がの見直し		□実施	(直近)	平成 年	度	☑未実∶	 施					
	※見	L直し内容を記入												
実施	根拠	<u>L</u>		✓ 国•府	の制度	■国・府の制	度+市独自	の制度 🗌 ī	市独自の制度	Ę				
	※根	拠となる法令の条項	までを記入	老人福祉法	 上第2条									
2 1	丰業	コスト・指標値の丼	維移											
_	1. 7/	区分	22 4				24 年度		25 ^在 (予:		H24/H23			
		事業費(千円)	(1)((1)		(1)		(1)	弄) 650	70.9%			
事業		件費(人·千円)	0 27 J		0.15 J	1	0.10 J		0.10人	265	29.4%			
	, ,	正職員					0.10) (0	0.10)(0	0.0%			
		再任用短時間勤務職員		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		0	0.05人	180	0.05人	180	_			
業	内			313371	0	_								
II I	訳	非常勤職員								0	_			
スト		アルバイト		0	0.05人	100	0.05人	85	0.05人	85	85.0%			
等	支	出合計A		2,652		1,450				915	45.2%			
		国•府支出金									-			
	財	受益者負担 B									-			
	源	その他財源									-			
		一般財源		2,652		1,450		655		915	45.2%			
	受益	在者負担率 B÷A									-			
							22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	目標値			
		区 分	内		容	単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)			
指標	(1)	□ 活動 ☑ 成果		交付者数		人	8	5	4	5	5			
標値	(2)	□ 活動 □ 成果		2017 11 300										
	(3)	□活動□成果												
	(4)	□活動□成果												
3 F	東	 の達成状況						<u>'</u>			-			
_		標に向かって順調に推	移している	1 事業	内容・手法を	 改善								
_		標に向かって順調に推		l <u> </u>			選択の 理 由	年金の給付給付を行う		王日外国人	高齢者に			
)判	断できない		□3 事務	事業を廃止		生 田	和17を11フ 	/_(¢)					
				1 導入	 済									
(参	考)			l —			選択の	マウいんご	ハッガリアルキ日	し合わわれた	· \			
		アウトソーシング導力	の可否			理由	ノソトンーン	/ングには見	ピロインノよいだ	_& <i>J</i>				
				☑ 4 不可	能									
4 j	旦当	部長が考える今後	後の方向性	·見通し										
			を踏まえた				(参考)田	作年度記載	の「評価を路	いまえた課題	を対策」			
, , ,	م.نــ		- 0.00		*******	م منفط بعض	- ما سخرر							
	理者は、大正15年4月1日以前生まれであり、今後は給付対象者は年対象者は、大正15年4月1日以前生まれであり、今後は 経過とともに減少していくため、事業の廃止も見込まれる。 給付対象者は年数経過とともに減少していく													

	24年度実施の事務事業 (25年度評価実施) □ サービス事業 □ プロジェクト事業 □ 定型事業 □ 投資的事業												
	24	年度実施の事務 (25年度評価実施	事業 包)	☐ サ–I	ビス事業	□ プロジェクト∄	事業	/ 定型事業	□投	資的事業			
会	計	区分(会計名:	を記入)	☑ 一般会計	┼□ 特別会割	! +()	□ 企業会計	+()	財務会計上 の短縮番号	2381		
第分		期 実 施 計 画 号/事業番号/		2021	9		担当	部課名	福祉部	高齢•福祉	:総務課		
		L. SHA				•	担当	課長名		瀬谷 宗久			
		事業の概要											
施策				高齢者福祉									
		施計画の事業名		福祉有償還	E 送運営協	議会事業							
		・上の事業名		福祉有償還	正送運営協	議会事業							
事業	の対	象【誰(何)を】		NPO等運	送事業者								
事業	の手	段【どうする(させる	5)ことで】	福祉有償還 町で共同で		に必要な利益	害関係との	協議を行う協	協議会(市長	主宰)を、‡	上摂7市3		
事業	の目	的【どのような結果	を得るか】	福祉有償還	運送の許可	に必要な利	害関係との	協議を行う					
実施	期間]		☑ 継 続	(平成17年	度 ~)		□ 時 限	(平成	年度~平成	年度)		
事業	内容	 での見直し		□実施	(直近)	平成 年	 度	☑未実	 施				
	※見	直し内容を記入			· · · · · ·								
実施	根拠	<u> </u>		☑ 国•府	の制度	国・府の制	度十市独自	の制度	 市独自の制度	Ę			
	※根	拠となる法令の条項	までを記入	道路運送沒	よ第79条の								
	2 事業コスト・指標値の推移 区分 22 年度 23 年度 24 年度 25 年度 (は 第) (は 第) (は 第)												
		区 分	(決			:算)		- (2) :算)	(予		H24/H23		
	事	業費(千円)		7	()	7	()	10		13	142.9%		
		件 費 (人・千円)	0.15人	892	0.06人	480	0.05人	390	0.05人	390	81.3%		
		正職員	0.08人	640	0.06人		0.05人	390	0.05人	390	81.3%		
事	,	再任用短時間勤務職員	0.07人	252		0		0		0	-		
業	内訳	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	_		
コス	可人	非常勤職員		0		0		0		0	_		
<u>ト</u>		アルバイト		0		0		0		0	-		
等	支	出合計A		899		487		400		403	82.1%		
		国•府支出金									-		
	財	受益者負担 B									_		
	源	その他財源									_		
		一般財源		899		487		400		403	82.1%		
	受益	者負担率 B÷A									_		
							22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	目標値		
		区 分	内		容	単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)		
指	(1)	□ 活動 ☑ 成果		参加市町		団体	10	10	10	10	10		
標値	(2)	☑ 活動 □ 成果		審議件数		件	37	13	12	20	20		
1111	(3)	□活動□成果				7.							
	(4)	□活動□成果											
3 F		の達成状況				•							
		標に向かって順調に推	:移している	1 事業	内容・手法を	·改善							
E	3 目	標に向かって順調に推 断できない		☑ 2 現在	の事業内容な 事業を廃止		選択の理由	費用対効界	果から市単独	虫実施より有	益である		
□ 1 導入済								1					
(参考)							選択の 理 由	10市町持[回りでの開作	崖である			
4 1	13	 部長が考える今後	多の方向性	:• 曽.通1									
- 1			を踏まえた				(参考)	作年度記載	の「評価を路	*まえた課題	と対策」		
		H 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題。							
		」果から市単独実施 る方針である。	こより有益で	であるため、今後も現在の事業内容			等 費用対効果から市単独実施より有益である						

		24年度実施の事務 (25年度評価実施		✓ サー	 ビス事業	☐ プロジェクトョ	事業	定型事業		 資的事業	
会	前口	計区分(会計名)	<u> </u>	✓ 一般会計	 †□ 特別会	:計()	□ 企業会計	·()	財務会計上 の短縮番号	2350
第	i,	1 期 実 施 計 画		2021	10		担当持	8課名	福祉部	高齢・福祉	
分	類	番号/事業番号	/ 枝番号	2021	10			果長名		瀬谷 宗久	
1 3	事	務事業の概要					7보크#	木区石		傾骨 示久	
施策				高齢者福祉	止・介護のき	充実					
第1	期	実施計画の事業名		福祉バス運	三行事業						
財務	女子	会計上の事業名		福祉バス運	行事業						
事業	€0	の対象【誰(何)を】		高齢者(60)	歳以上)、🏻	章がい者、妊	産婦				
事業	€0	の手段【どうする(させる	5)ことで】	マイクロバン	スで市内の	施設を循環	運行				
事業	€0	の目的【どのような結果	を得るか】	高齢者等の	の外出を支	援し、引きこ	もりを防止				
実施	亞其	期間		☑ 継 続	(平成 9年	年度 ~)		□ 時 限	(平成	年度~平成	年度)
事業	É P	内容の見直し		□ 実 施	(直近))平成 年	度	☑ 未実∶	施		
	>	※見直し内容を記入									
実施	拉村			□国・府	の制度	□ 国・府の制	度+市独自		 市独自の制度		
	×	※根拠となる法令の条項	までを記入	老人福祉法	去第13条						
2 -	事	業コスト・指標値の推	推移						_		
		区分				年度		年度 第)	25 £		H24/H23
	H	事業費(千円)	(沃	<u>昇)</u> 28,055	(7)	 27,882	(決算) 27,875		(予:	昇) 27,930	100.0%
		人 件 費 (人·千円)	0.26人	1,772	0.15人	1	0.10人	570	0.15人	960	47.5%
	Γ	正職員	0.19人	1,520	0.15人	1,200	0.05人	390	0.10人	780	32.5%
事	L	再任用短時間勤務職員	0.07人	252		0	0.05人	180	0.05人	180	_
業コ		世界 一 七期付短時間勤務職員 非常勤職員		0		0		0		0	_
スト	l	非吊動職員 アルバイト		0		0		0		0	_
等	L	支出合計A		29,827		29,082		28,445		28,890	97.8%
	Γ	国·府支出金									_
		財 受益者負担 B		9.5		0.0			770		
	1	源 その他財源 一般財源		29,792		28,999	28,385			770 28,120	72.3% 97.9%
	25	受益者負担率 B÷A		20,102		20,000		20,000		20,120	-
	Ī				-		22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	目標値
		区 分	内		容	単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
指標	((1) 🗌 活動 🗹 成果		利用者数		人	99,852	94,166	90,290	100,000	100,000
値	-	(2) □ 活動 □ 成果									
	_	(3) ☐ 活動 ☐ 成果 ☐ (4) ☐ 活動 ☐ 成果									
3)	_	⁽⁴⁾ │									
		<u>/木♥/乗/八/八/八</u> 目標に向かって順調に推	移している	1 事業	内容·手法?	を改善					
ا⊡ا	В	目標に向かって順調に推判断できない		☑ 2 現在	の事業内容	を継続	選択の 理 由	利用者数に	は一定数を係	尽っている	
(参:	考		の可否	□ 3 事務事業を廃止 □ 1 導入済 □ 2 事業の全てが可能 □ 3 事業の一部が可能 □ 4 不可能		選択の 理 由	スマイルに	委託済			
4	担	当部長が考える今後	後の方向性	:・見通し							
		評価	を踏まえた	課題と対策			(参考)日	作年度記載の	の「評価を路	当まえた課題	を対策」
約6	5	23年3月から募金箱設 万円となっており、平成 が見込まれる。									

			P - 2004	李	75 争 未	: 計 1四	<u> </u>					
		l年度実施の事務 (25年度評価実施		□ サー!	ごス事業	☐ プロジェクト [╗]	事業	☑ 定型事業	□投	資的事業		
		区分(会計名		☑ 一般会計	┼── 特別会詞	 ()	□企業会計	+()	財務会計上 の短縮番号	2285	
		期 実 施 計 画		2021	11		担当	部課名	福祉部	高齢•福祉	上総務課	
		جين سال ۾ عالد جات		•			担当	課長名		瀬谷 宗久		
		事業の概要		高齢者福祉	△#ホナ	÷ / 						
施策		歩きてのま 響り										
		施計画の事業名		要援護高齢								
		十上の事業名		要援護高齢								
争未	とリス	†象【誰(何)を】		虐待を受け	(いる安族	で で で で で で で で で で で で で で で で で で で						
事業	美の手	三段【どうする(させる)ことで】	生活管理指	音導や措置.	入所などの	支援を行う。					
		目的【どのような結果	を得るか】	要援護高齢		先の確保を	目的とする。					
実施	期間	l l		☑ 継 続	(平成 年	三度 ~)		□ 時 限	(平成	年度~平成	年度)	
事業	[内容	ドの見直し アルファイ		□実施	(直近)	平成 年	度	☑未実	施			
	※ 見	見直し内容を記入										
実施	 过根执	л		□ 国•府	 の制度 [国・府の制		の制度 🔽	 市独自の制度	 E		
	※根拠となる法令の条項までを記入 老人福祉法施行規則第10条、池田市生活管理指導員派遣事業実施要綱、池田市短期入所生活介護事業実施要											
2 1	事業	コスト・指標値の推	達移	//Yeg								
	1. V		22 ⁴		23 4	年度	24	年度	25 설	年度	1104/1100	
		区分	(決	决算) (決算		算)	(決	:算)	(予	算)	H24/H23	
	-	事業費(千円)		0		0		42		152	-	
	人	件費(人・千円)	0.20人	1,600	0.10人	800	0.05人	390	0.10人	780	48.8%	
-		正職員	0.20人	1,600	0.10人	800	0.05人		0.10人	780	48.8%	
事業	内	再任用短時間勤務職員 任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	_	
コ	訳	非常勤職員		0		0		0		0		
ス		アルバイト		0		0		0		0	_	
ト等		出合計 A		1,600		800		432		932	54.0%	
		国•府支出金									-	
	財	受益者負担 B									-	
	源	その他財源									-	
		一般財源		1,600		800		432		932	54.0%	
	受益	É者負担率 B÷A									-	
		□ √	H		容	出任	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	目標値	
+15		区 分	内		台	単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)	
指標	(1)	□ 活動 ☑ 成果		実利用者数		□	0	0	2	2	2	
値	(2)	□活動 ☑ 成果		延利用者数	•	回	0	0	24	24	24	
	(3)	□活動□成果□										
o -	(4) +> ⊞	□活動 □成果 □						L				
_		の達成状況 標に向かって順調に推	投しアハフ	1 市 **	内容・手法を	改善		A 200 7 1 1 1 1	· 4 == 11 ==	7 ± 1 + 1 + 1 + 1 + 1	10=15=	
	 ✓ A 目標に向かって順調に推移している □ 1 事業内容・手法を改善 選択の 理 由 ○ 日標に向かって順調に推移していない □ 2 現在の事業内容を継続 理 由 ○ 判断できない □ 3 事務事業を廃止 □ 3 事務事業を廃止 											
(参 今後		アウトソーシング導入	の可否	_	の全てが可能 の一部が可能		選択の 理 由	社会福祉活	去人 のぞみ	ょ(白寿荘)に	こ委託済	
4 扌	担当	部長が考える今後	その方向性	・見通し								
		評価	を踏まえた	課題と対策			(参考)	昨年度記載	の「評価を路	皆まえた課題	を対策」	
		たけている高齢者等 作を確保する観点			、要援護高	齢者に対		きを受けてい もの確保が必		ど要援護高	齢者に対	

		P	L. Site	*	分 手 未		<u> </u>					
		年度実施の事務 (25年度評価実施		✓ サーI	ビス事業	☐ プロジェクト∄	事業	定型事業	□投	資的事業		
会	計	区分(会計名)	を記入)	☑ 一般会計	┼□ 特別会詞	' H()	□ 企業会計	-()	財務会計上 の短縮番号	2384	
第分		期 実 施 計 画: 号/事業番号/		2021	12		担当	部課名	福祉部	高齢•福祉	総務課	
							担当詞	課長名		瀬谷 宗久		
		事業の概要										
施策					止・介護の充							
		施計画の事業名			青報キット配							
		上の事業名			青報キット配							
事業	の対	象【誰(何)を】			の独居高齢							
事業	の手	段【どうする(させる)ことで】	持病・かか急事態に備		※急連絡先な。 	よどの救急 <u>国</u>	医療情報を専	厚用保管容= 	器に保管し、	、万一の救 	
事業	の目	的【どのような結果	を得るか】	救急時に、	救急隊員が	ぶその情報を	活用し、よ	り的確な救命	命活動を可	能とする。		
実施	期間]		☑継続	(平成22年	度 ~)		□ 時 限	(平成	年度~平成	年度)	
事業	内容	の見直し		□実施	(直近)	平成 年	_ _	☑未実	 施			
	※見	直し内容を記入										
実施	根拠	<u>L</u>		□国・府	の制度	国・府の制	度+市独自	の制度 ☑ ī	 市独自の制度	Ę		
	※根	拠となる法令の条項	までを記入									
2 1	事業	コスト・指標値の割	維移									
	22 年度 23 年度 24 年度 25 年度 194/193											
			(決		(決	算)	(決	算)	(予算)		П24/ П23	
		業費(千円)		1,032		64		67		120	104.7%	
声	人	件 費 (人・千円)	0.20人	1,600	0.02人	160	0.20人	740	0.10人	570	462.5%	
		正職員 再任用短時間勤務職員	0.20人	1,600	0.02人	160	0.05人	390	0.05人	390	243.8%	
事業	山	任期付短時間勤務職員 任期付短時間勤務職員		0		0	0.05人	180	0.05人	180		
コ	訳	非常勤職員		0		0		0		0		
スト		アルバイト		0		0	0.10人	170		0	_	
等	支	出合計A		2,632		224		807		690	360.3%	
		国·府支出金									-	
	714	受益者負担 B									_	
	源	その他財源									_	
	V	一般財源		2,632		224		807		690	360.3%	
		者負担率 B÷A									-	
		区 分	内		容	単位	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	目標値	
指						平位	(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)	
標	(1)	□ 活動 ☑ 成果	西面	己布数(延べ	ξ)	個	874	1,102	1,239	2,000	2,000	
値	(2)	□ 活動 □ 成果										
	(3)	□活動□成果										
0 1	, ,	□□活動□□成果□										
		の達成状況	401 アハフ	□ 1 車業	内容・手法を			1				
E	3 目	標に向かって順調に推 標に向かって順調に推 断できない		☑ 2 現在			選択の 理 由	独居高齢者 用は着実に		布、救急隊 いる	員による利	
(参	考)	アウトソーシング導力	の可否	☑ 1 導入済 ■ 配布に当たっては、民生委員・地区福祉を □ 2 事業の全てが可能 選択の □ 3 事業の一部が可能 理 由 □ 4 不可能 選択の 市では、フォローアップとして情報の更新に対象の 内を年一回通知している。					地域包括 っている。			
4 ‡	担当:	部長が考える今後	後の方向性	・見通し								
			を踏まえた				(参考)	作年度記載	の「評価を路	当まえた課題	[と対策」	
して	いるが	者等へのキットの暦 ため、今後の利用状					独居高齢ネ 増加してい 視野に検言	るため、今往	等への配布、救急隊員による利用は着領 ため、今後の利用状況により新たな展開			
いく。)						沈野に使詞	10 C V 'C。				

		上年度実施の事務 (25年度評価実施		□ サー	ビス事業	アロア 1 四 ・	事業	/ 定型事業		資的事業	
会		区分(会計名			┼──特別会	計 ()	企業会計	+()	財務会計上 の短縮番号	2285
第分》	1 a x	期 実 施 計 画	画での / 枯釆号	2021	13		担当日	部課名	福祉部	高齢•福祉	上総務課
<i>JJ</i> 7	识 田					!	担当記	課長名		瀬谷 宗久	
		事業の概要							•		
施策		たさまのま 要り		高齢者福祉							
		施計画の事業名 十上の事業名		養護老人才養護老人才							
		<u>上の事業石</u> 象【誰(何)を】		65歳以上		刊足爭未					
		=段【どうする(させる	5)ことで】			判定委員会	を開催する。)			
事業	の目	目的【どのような結果	を得るか】	適切な入戸	f判定·措施	置継続判定を	:行う目的。				
実施	期間			☑継続	(平成	年度 ~)		□ 時 限	(平成	年度~平成	年度)
事業	内容	ドの見直し		□実施	(直近)) 平成 年	度	☑ 未 実	 施		
	※見	し 直し内容を記入									
実施	根拠	<u> </u>		✓ 国•府	の制度	国・府の制	度+市独自	の制度	市独自の制度		
	※根	と 拠となる法令の条項	までを記入	老人福祉法	去第10条∅)3 第11条					
2 4	事業	コスト・指標値の丼			1	f			1		
		区 分	22 ⁴ (決		1	年度 や算)		年度 :算)	25 ⁴ (予		H24/H23
	事	軍業費(千円)	(DC)	27	()	26		19	()	2	73.1%
	人	件費(人・千円)	0.20人	1,600	0.10人	_	0.10人	780	0.10人	780	97.5%
事		正職員 再任用短時間勤務職員	0.20人	1,600	0.10人	800	0.10人	780	0.10人	780 0	97.5%
業	内訳	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	_
コス	八百	非常勤職員		0		0		0		0	_
ト 等	+	アルバイト : 出 合 計 A		1,627		826		799		782	- 00.7%
守	<u>X</u>	国•府支出金		1,027		620		199		102	96.7%
	財	受益者負担 B									-
	源	その他財源		1 605		000		700		700	-
	受益	一般財源 		1,627		826		799		782	96.7%
	<u> </u>						22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	目標値
		区 分	内		容	単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	日保旭 (H26)
指標	(1)	☑ 活動 □ 成果	入所半	定委員会	の開催	回	1	1	1	2	2
値	(2)	□活動□成果									
	(3)	□ 活動 □ 成果□ 活動 □ 成果									
3 E		<u>□□ /4到 □ /0米</u> の達成状況				<u> </u>		l l			
		標に向かって順調に推	移している	1 事業	内容·手法	を改善 を改善	選択の	1 記判学1	7.7%年1同の)措置継続料	(1) ウナ・ナス
		標に向かって順調に推 断できない	移していない		の事業内容 事業を廃止		理由	必要がある		77日 旦、水坯水火土	刊圧をする
(参 ^元 今後		アウトソーシング導力	人の可否		の全てが可能 の一部が可		選択の 理 由	アウトソーシ	/ングに見合	うわないため)
4 ‡	担当	部長が考える今後	後の方向性	・見通し							
		評価	を踏まえた	課題と対策)	+ 31/2 Anh 1-1-	(参考)	作年度記載	の「評価を路	当まえた課題	[と対策]
入は異れる	むを 酬事	ご及び年1回の措置 ∵得ない。なお、平成 罫業に統合することに	継続判定を 対25年度より により、当該	する必要か 入所判定す 事業に係る	ぶあるため、 受員の委員 費用の削済	事業継続 報償金を委 減が見込ま		及び年1回の 継続はやむ		判定をする必	必要がある

		7	יא ד תי		•					
24 年 度 実 施 の (25 年 度 評 仮			ス事業 🗌	プロジェクト事	業 🗸 5	定型事業	□ 指	设資的事業		
会計区分(会計		☑ 一般:	会計 [] 特別会計	()[企業会計	t()	財務会計上 の短縮番号	2470	
第1期実施		2021	16		担当音	部課名	福祉	部 保険医	 療課	
分類番号 / 事業番	号 / 枝番号					果長名		玉手 邦至		
1 事務事業の概要					1 H	水 及 石		<u> </u>		
施策名		高齢者福	祉・介護の	充実						
第 1 期実施計画の事業	名	老人医療	事業							
財務会計上の事業名		老人医療								
事業の対象【誰(何)を】		65歳以上	.70歳未満で	、特定疾患	、感染症法	、自立支援	法に係る医療	寮を受けてい	ハる者	
事業の手段【どうする(さ	(せる)ことで】	市広報誌	にて制度の	説明を掲載	, vo					
事業の目的【どのような	結果を得るか】	障がい者 図る。	丫等の診療機	幾会が多いこ	とに配慮し	、必要な医療	寮が妨げられ	いないことの	ないように	
実施期間		✓ 継続	1000年11月1日 1000年11月 1000年11月 1000年11月 1000年11月 1000年11月 1000年11月 1000年11月 1000年11月 1000年11月	F度 ~)		□ 時 🛭	艮(平成 🤞	年度~平成	年度)	
事業内容の見直し		☑ 実施	直 (直近)	平成20年度	Ę	□ 未実	施			
※見直し内容を記入		老人医療(一部負担金	相当額等-	部助成)に	法別番号付				
実施根拠		□ 国・府	守の制度	✓ 国•府	の制度+市	独自の制度	□ 市独	は自の制度		
※根拠となる法令の多	条項までを記入	大阪府老	人医療費助	」成要領·池	田市老人医	医療費の助成	対に関する条	:例		
2 事業コスト・指標値	の推移					. , ,	<u> </u>			
区分	22	年度 23 年度 - (決算)		24 年度 (決算)		25 年		H24/H23		
事業費(千円)	(決	と算) 131,199	(決	<u>算)</u> 137,294	(決	·算) 140,580	(予:	算) 148,740	102.4%	
人件費(人·千	円) 1.60		1.50	9,600	1.30		1.30	8,920	86.7%	
正職員	1.20	9,600	1.10	8,800	1.10	8,580	1.10	8,580	100.0%	
事 内 再任用短時間勤和		0		0		0		0	_	
コー訳・おお歌目	勞職員	0		0		0		0		
ストアルバイト	0.40		0.40	800		340	0.20	340	50.0%	
等支出合計A		141,559		146,894		149,500		157,660		
国•府支出金 財		61141		51,766		62,771		67,191	121.3%	
文金有貝担	3									
源 その他財源 一般財源		80,418		95,128	86,729 90,469 91.2%					
受益者負担率 B -	-A	00,110		30,120		00,123		50,105	-	
					22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	目標値	
区 分	内		容	単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	日保恒 (H26)	
指 (1) □ 活動 ☑	成果 対象者	(医療費•一	 部負担)	人	1,069	1,098	1,168	1,300	_	
[標 `		当たり年間終		円	112,401	114,251	110,943	105,689	_	
(3) 🗸 活動 🗌	成果	対象者把握	l S	%	100	100	100	100	_	
(4) 🗸 活動 🗌	成果	申請		%	100	100	100	100	-	
3 成果の達成状況		1				1				
□ A 目標に向かって順記			美内容・手法 を		選択の		自の制度で			
□ B 目標に向かって順記☑ C 判断できない	^{前に} 推移していない 		王の事業内容 8事業を廃止	を継続 	理由	いて、必要できるように	とする医療を こ改正。 	r谷易に受り 	ノ る ことか	
(() ()		1 導力			\ 	hoten 12 2 2"	The late 2	T.32 3	1)_2;-	
(参考) 今後のアウトソーシン/	が道入の可否		美の全てが可能 美の一部が可能		選択の 理 由		務等を外部 ムが見込める		とにより、事	
	77.VV 17 II	✓ 3 事第		7L		377	14 JUKSV/6	' 0		
4 担当部長が考える	 今後の方向性	<u>' ̄</u> ・見通し			•	1				
7 7777 377 374 37	評価を踏まえた				(参考)	昨年度記載	の「評価を路	皆まえた課題	と対策」	
昨年、国及び府におり						及び府にお				
一部改正がなされている に向け、市民ニーズ、財						いる。したか ニーズ、財				
討する。			. , 5.7.		討する。	1 714 5		H 1131		

		1年度実施の事務			7万 争 ビス事業	未 計	゚ロシ゛ェクトヨ		✓ 定型事業			
		(25年度評価実施					H) T)I.=				財務会計上	
		区分(会計名)		☑ 一般会詞	汁 特別 ·	会計()	□ 企業会計	-()	の短縮番号	2386
		期 実 施 計 画 号/事業番号/		2021				担当	部課名	福祉部	高齢•福祉	上総務課
					:	•		担当	課長名		瀬谷 宗久	
		事業の概要										
施策				高齢者福祉								
		施計画の事業名		高齢者日常								
		†上の事業名 対象【誰(何)を】		高齢者日常65歳以上の			ナ シ ス+	##(原則)				
		り家【誰(四)を】 	() > しって						 生活活動に~	ついて控助す	よこびつた 世	1.出土マ
事 录	ミクノ 一	- 校【とりりの(させる)	同断石が	男りつ匹	雷に刈し	八貝()	物等日吊台	上伯伯凱に、	フいて 仮切り	リーC へを放	単分の。
事業	(の)	目的【どのような結果	を得るか】	高齢者が属	属する世	帯の日常	常生活の	の向上を図	る。			
	期間			☑継続					□ 時 限		年度~平成	年度)
事業	内容	字の見直し 		□実施	(直	近)平成	年 年	度	☑未実∶	施		
	※5	見直し内容を記入										
実施	根抄	几		□国・府	の制度	国国	・府の制	度+市独自	の制度 🔽 ī	市独自の制度	ξ	
	※相	製拠となる法令の条項	までを記入	池田市高齢	静者日常	生活援	助事業	実施要綱				
2	事業	コスト・指標値の推							t and a	1		
		区 分		年度 (算)	1	23 年度 (決算)			年度 : 算)	25 4	手度 (2)	H24/H23
		事業費(千円)	(0)	.5+7		(1)(34)		(D)	269	(1)	517	_
	人	件 費 (人・千円)		0			0	0.05人		0.05人	390	-
		正職員		0			0	0.05人		0.05人	390	-
事業	内	再任用短時間勤務職員 任期付短時間勤務職員		0			0		0		0	
コ	訳	非常勤職員		0			0		0		0	_
スト		アルバイト		0					0		0	_
等	支	出合計 A		0			0	0 659 90				
		国•府支出金								_		
		受益者負担 B その他財源										_
	1055	一般財源					0		659		907	
	受益	<u> </u>					$\stackrel{\circ}{=}$		000		301	_
			·					22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	目標値
		区 分	内		容	<u>i</u>	单位	(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	日保旭 (H26)
指標	(1)	□ 活動 ☑ 成果		実利用者数			口	0	0	31	50	50
値	(2)			延利用件数			口	0	0	179	366	366
	(3)		(事業例	月始 24.6.1	のため)							
2 I	(4) む里	□活動 □成果 :の達成状況										
		<u>♥ンフು更成れんた</u> 標に向かって順調に推	移している		内容・手	法を改善			全後記 电往	を受けてい	ス京齢老か	/ 更採灌
	8 目	標に向かって順調に推 断できない		☑ 2 現在		容を継続	Ė	選択の 理 由 今後も虐待を受けている高齢者など要援護 高齢者に対する避難先を確保する必要があ るため				
(参 今往		アウトソーシング導入	の可否	l	の全てが の一部が			選択の 理 由	シルバー人	、材センター	に委託済	
4	担当	部長が考える今後						./.	al back and		k. I	
		評価	を踏まえた	課題と対策				(参考)	昨年度記載	の「評価を路	当まえた課題	き対策」
事業	業開始(平成24年度)から3年をめどに事業の見直しを図る。											

				•	****							
		年度実施の事務 25年度評価実力		☑ サービ	ズ事業 🗌	プロジェクト事	業 📗 :	定型事業	□ 找	设資的事業		
	会 計	・区分(会計名を	·記入)	□ 一般:	会計		(介護保険)	企業会計	·()	財務会計上 の短縮番号	8911	
分	第一新悉	1 期 実 施 計 画 号 / 事業番号 /	画 の	2021			担当	部課名	福祉	部 介護保	険課	
//	及田	7 , 事采曲70 /	(人田 /)	<u> </u>	i		担当	課長名		小松 伸		
		事業の概要				•						
施第				高齢者福祉	止・介護の充	実						
		実施計画の事業名 ト上の事業名		総合相談事	上光							
		<u>上の事</u> 来名 象【誰(何)を】		高齢者	井未 ———							
		段【どうする(させる)	ことで】		医援センター	を中心に、		する多様な	相談に応じ	 る		
事業	*の目	 的 【どのような結果を	と得るか】	適切な機関	 』、制度、サ [、]	ービスにつた	こぎ、継続的	 りにフォロー [、]	 する			
	短期間							<u> </u>		年度~平成	年度)	
		」 Fの見直し				平成24年度				午及 一十八	十尺)	
77					* (區近)				n is			
		.直し内容を記入 										
実施	包根拠	<u>L</u>		┃	守の制度 ニュー	□□■・府	の制度+市	独自の制度	────────────────────────	は自の制度		
	※根	拠となる法令の条項まで	でを記入	介護保険法	去115条の45							
2	事業	コスト・指標値の推		to other	00 F F			for the	o= t			
		区 分	22 ² (決	年度 (算)	23 ^全 (決			年度 :算)	25 ^左 (予:		H24/H23	
		業 費(千円)		12,168		14,065		14,930			106.2%	
	人	件費(人・千円)	0.10		0.10 0.10	800 800	0.02		0.02 0.02	156 156	20.0%	
事	内	正職員 再任用短時間勤務職員	0.10	0	0.10	0	0.02	0	0.02	0	20.0%	
業コ		任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	_	
スト	訳	非常勤職員アルバイト		0		0		0		0		
等	支	出合計A		12,968		14,865		15,086		16,294	101.5%	
	財	国·府支出金 受益者負担 B		7,300 8,438			8,846 9,562 104.8% - -					
	源	その他財源		2,433		2,812	3,135 3,389				111.5%	
		一般財源		3,235		3,615						
	受益	者負担率 B÷A									_	
		区 分	内		容	単位	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	目標値	
指	(1)	✓ 活動		実態把握		人	(実績) 663	(実績) 710	(実績)	(予定)	(H26)	
標値	(2)	-	後期	高齢者実態	 採把握	人	827	1,333	812	850	900	
	(3)	□ 活動 ☑ 成果		総合相談		人	1,977	2,534	4,176	4,200	4,300	
	(4)	□ 活動 □ 成果										
3		の達成状況 目標に向かって順調に推移	多している	□ 1 重当	業内容・手法を			ī				
	ВЕ	目標に向かって順調に推利 目標できない		☑ 2 現在	をの事業内容 8事業を廃止		選択の 理 由	相談者が安 応を行って	心して相談 いる。	できる環境	づくり、対	
 (参: 今	考)	アウトソーシング導入	の可否	✓ 1 導 <i>刀</i> ☐ 2 事業	入済 美の全てが可能 美の一部が可能		選択の 理 由	委託で実施	Ĺ			
4	担当	部長が考える今後					(1			V -	i 上 [左左	
			を踏まえた記					昨年度記載				
	及び)充実を標榜する国の指針に基づき、要介 ・化を緩和すべく、介護予防事業の裾野を				

			•	יות די	, 11 1111 >	•						
	24年度実施の事務 (25年度評価実施の事務)		✓ サービ	ス事業 🗌	プロジェクト事	業 🗌 :	定型事業		殳資的事 業			
	会計区分(会計名を		□ 一般:	会計 [·	/ 特別会計	(介護保険)	企業会計	 	財務会計上 の短縮番号			
	第 1 期 実 施 計 画 類番号 / 事業番号 /		2021			担当日	部課名	福祉	:部 介護保	 険課		
刀	現省方 / 事 耒省方 /	权留方			<u> </u>	担当記	課長名					
1 -	事務事業の概要					,,	,,,,,,	ı	V 10.7 11			
施策	名		高齢者福祉	上・介護の充	芝実							
- * * *	期実施計画の事業名											
,	会計上の事業名		権利擁護事	事業								
事業	の対象【誰(何)を】		高齢者									
事業	の手段【どうする(させる)	ことで】	権利侵害の)予防や対	応、権利行例	吏の支援 						
事業	の目的【どのような結果を	そ得るか】	高齢者の権	重利擁護 _								
実施	期間		✓ 継続	(平成184	年度 ~)		一時	(平成	年度~平成	年度)		
事業	内容の見直し		□ 実施	(直近)	平成 年	度	☑ 未実	施				
	※見直し内容を記入											
実施	 i根拠		✓ 国•府	可制度	□ 国・府	の制度+市	 独自の制度	□ 市独	虫自の制度			
	※根拠となる法令の条項まで	でを記入	介護保険法	 5115条の4!								
			7 - MX PINIDAIZ	.==0> \(\nu\) > 10								
	事業コスト・指標値の推				年度	24 年度		25 4	年度	1104/1100		
	区 分	(決	算)	(決算) (決算) 12,147 13,945 14,926 800 0.10 800 0.02 156 0.02		(予		H24/H23				
	事業費(千円) 人件費(人・千円)	0.10		0.10				0.02	16,324 156	107.0% 20.0%		
	正職員	0.10						0.02	156	20.0%		
事業	内 再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	_		
コ	世界付短時間勤務職員 記 一非常勤職員		0		0		0		0			
スト	アルバイト		0		0	0 0				_		
等	支 出 合 計 A 国・府支出金		12,947 14,745 7287 8366				15,082		16,480			
	財 受益者負担 B		1201		6300		8843 9672 105.7%					
	源その他財源		2429		2788		3135		3428	112.4%		
	一般財源 受益者負担率 B÷A		3,231		3,591		3,104		3,380	86.4%		
				I		00 7-7-	00 7-1-	04 5	05 5- 5-			
	区 分	内		容	単位	22 年度 (実績)	23 年度 (実績)	24 年度 (実績)	25 年度 (予定)	目標値 (H26)		
指標	(1) □ 活動 ☑ 成果	木	目談対応者数	<u></u> 数	人	152	175	350	360	370		
値	(2)											
	(3) □ 活動 □ 成果 (4) □ 活動 □ 成果											
3)	(4)	<u> </u>			I	l	l		<u> </u>			
	以来り達成仏化 A 目標に向かって順調に推移	 多している	□ 1 事第	≹内容·手法	 を改善	NT- 1		En _L_stre ** *	- 44			
	B 目標に向かって順調に推和 C 判断できない			王の事業内容 务事業を廃止		選択の 理由	認知症対策を行ってい		≧待の防止∽	、の取組み		
H	O THE COME.		□ 3 事标		<u> </u>	<u> </u>						
(参		のゴボ	2 事業	と の全てが可		選択の	委託実施					
	後のアウトソーシング導入	のり召	│	美の一部が可 T能	形	理由						
4 ‡	担当部長が考える今後(の方向性・				<u> </u>	I					
		を踏まえた記				(参考)	昨年度記載	の「評価を路	沓まえた課題	と対策」		
和、ゆく。	介護の充実を標榜する国の指針に基づき、要介護状態の重篤化の緩 在宅介護の充実を標榜する国の指針に基づき、要介護 及び介護給付額の抑制に資すべく、介護予防事業を継続的に推進して 状態の重篤化を緩和すべく、介護予防事業の裾野を拡 げてゆく。											

				7	7077	· µ µµ >	•					
		年度実施の事務 25年度評価実施		✓ サービ	ス事業 🗌	プロジェクト事	事業 ✓ 5	定型事業		设資的事業		
1	会 計	・区分(会計名を	記入)	□ 一般:	会計 🗸	特別会計	(介護保険)[企業会計	H()	財務会計上 の短縮番号	8930	
分	第	1 期 実 施 計 画 号 / 事業番号 /	画 の ′ 枝番号	2022	1		担当部	部課名	福祉	:部 介護保	険課	
<i>J</i> J:	規笛	力 / ず未留り /	仅留力	<u> </u>	<u> </u>		担当記	課長名		小松 伸		
1 -	事務	事業の概要				ļ						
施策	名			高齢者福祉	上・介護の充	実						
第 1	期到	実施計画の事業名		介護保険事								
		上の事業名		介護給付等		と事業						
事業	色の対	象【誰(何)を】		介護保険受	給者							
事業	ぎの手	段 【どうする(させる)	ことで】	介護給付の	内容を多角	的に精査						
事業	色の目	的【どのような結果を	そ得るか】	介護給付総	総額を抑制							
実施	期間			_ ✓ 継続	(平成18年	F度 ~)		□ 時 №	(平成	年度~平成	年度)	
事業	(内容	の見直し		☑ 実施	(直近)	平成23年度	E	□ 未実	施			
	※見	直し内容を記入		ケアマネ協	会への委託	事業として	、ケアプラン	ん検を実施	lo			
実施	· 过根拠	L			 fの制度	国・府	の制度+市	 独自の制度	□ 市独	曲 は自の制度		
		拠となる法令の条項まで	でを記入		<u> </u>				<u> </u>			
				刀咬小穴位	7110\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\							
2 7	事業	コスト・指標値の推		手度	23 左	手度	2.4 4	年度	25 4	手度 T		
		区 分	(決		(決:			算)	(予		H24/H23	
		業費(千円)		276	1	1,342		4,617		6,171	344.0%	
	人	件 費 (人·千円) 正職員	0.90	4,920 4,000	0.90 0.50	4,960 4,000	0.55 0.15		0.55	2,130 1,170	61.1% 30.0%	
事	内	再任用短時間勤務職員	0.00	4,000	0.50	4,000	0.13	0	0.10	0	- 30.0%	
業コ		任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	_	
コス	訳	非常勤職員	0.40	920	0.40	960	0.40	960	0.40	960	100.0%	
ト等	支	アルバイト 出 合 計 A		5,196		6,302		6,747		8,301	107.1%	
-11		国·府支出金		166		805		2724		3656	•	
	財	受益者負担 B									_	
	源	その他財源一般財源		55 4,975		268 5,229						
	受益	者負担率 B÷A		1,310		0,223		5,000		0,010	- 30.4%	
							22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	目標値	
		区 分	内		容	単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)	
指標	(1)	+	· ·	プラン点検付		件	0	81	114	120	130	
値	(2)			合会データ点		件	10,000	11,000	11,000	12,000	15,000	
	$\frac{(3)}{(4)}$	✓ 活動 □ 成果 □ 活動 □ 成果	給	付費通知件	釵	件	4,080	4,800	10,763	11,000	11,000	
3)		<u>」 </u>	<u> </u>				ı	I .				
		<u>▽フು≇៸ススィス、インに</u> ト標に向かって順調に推利	多している	✓ 1 事業	 美内容・手法を		\ 	介護保险制	順度の持続が	生を重点的に	こ捉え、介	
	ВЕ	目標に向かって順調に推和 引断できない		□ 2 現在	Eの事業内容 務事業を廃止	を継続	選択の 理 由	護給付費の		ナべく、今後		
 (参 字	考) ·後の	アウトソーシング導入	. , .	□ 3 事業□ 4 不可	美の全てが可食 美の一部が可食		選択の 理 由	ケアマネ指を委託済。	導やケアプ	ラン点検に・	つき、一部	
4	担当	部長が考える今後					(4 + 1)	佐年中記書	介「証 /㎡→ ㎡	マント 中田田	5), 1, 65	
左 4	. 4色十		を踏まえた説		企業程 除出			作年度記載				
を脅 であ	・増加する介護給付費が保険料の高額化を招き、介護保険制度の基盤 年々増加する介護給付費が保険料の高額化を招き、介かす事態を危惧。その予防措置として、給付適正化事業は有効な手段 護保険制度の基盤を脅かす事態を危惧。その予防措置 として給付適正化事業は最も有効な手段であり、手厚く ゆく。 継続的に進めてゆく。											

				•	• •	• • •						
		年度実施の事務 (25年度評価実施		☐ サーI	ビス事業	プロジェクト	事業	定型事業	☑投	資的事業		
会	計	区分(会計名	を記入)	☑ 一般会言	┼□ 特別会	it()	□企業会計	•()	財務会計上 の短縮番号	2361	
第分		期 実 施 計 画 : 号 / 事 業 番 号 <i>/</i>		2022	3		担当台	祁課名	福祉部	高齢•福祉	上総務課	
						:	担当請	果長名		瀬谷 宗久		
1 3	事務	事業の概要										
施策	名			高齢者福祉	止・介護のす	艺実						
第1	胡実力	施計画の事業名		介護老人福	a祉施設整	備助成事業						
		・上の事業名				備助成事業						
						加列及手术						
争亲	の大	象【誰(何)を】		社会福祉法	5人							
事業	の手	段【どうする(させる	5)ことで】	介護保険加	施設の整備	資金の一部	を助成する					
事業	の目	的【どのような結果	を得るか】	老人保健福	冨祉計画に	基づく介護の	保険施設の	確保を図る				
実施	期間]		□継続				☑ 時 限	(昭和56	年度~平成	25年度)	
事業	内容	 の見直し		□実施	(直近)	平成 年		☑未実∶	———— 施			
7.71		直し内容を記入			(12.41)	1/24 1/						
+++-	根拠				の制度	□ ■ ☆◇쎅		∆ #I#	上述中で生き	<u> </u>		
夫加					の制度		度十市独自		†独自の制度	£		
※根拠となる法令の条項までを記入 池田市社会福祉法人の助成に関する条例・同施行規則												
2 -												
	22 年度 23 年度 24 年度 25 年度 27 年度 27 年度 27 年度 29 日本 29 年度 29 日本 29 年度 29 日本 20 日本 29 日本 20 日本											
		区 刀	(決	算)	(決	: 算)	(決	算)	(予算)		HZ3/ HZZ	
	事	業 費(千円)		10,753		10,753		10,753		10,753	100.0%	
事業	人	件費(人・千円)	0.20人	1,160	0.15人	. 1,200	0.05人	390	0.05人	390	32.5%	
		正職員	0.10人	800	0.15人	1,200	0.05人	390	0.05人	390	32.5%	
		再任用短時間勤務職員	0.10人	360		0		0		0	_	
	内			0		0		0		0	_	
コ	訳	非常勤職員		0		0		0		0	_	
ス		アルバイト		0		0		0		0	_	
ト 等	士	出合計 A		ŭ				Ů			93.2%	
4				11,515	11,913 11,953 11,143 11,143						93.470	
		国•府支出金									_	
	1.4	受益者負担 B									_	
	源	その他財源		11.010		11.050		11.140		11 140	-	
	= 1/	一般財源		11,913		11,953		11,143		11,143	93.2%	
	受益	者負担率 B÷A									-	
							22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	目標値	
		区 分	内		容	単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)	
指	(1)	□活動 ☑ 成果		入所者定数	r	1		351	351			
標	(1)			八川石足数		人	351	331	301	351	351	
値	(2)	□ 活動 □ 成果										
	(3)	□活動□成果										
	(4)	│										
3 J	戊果	の達成状況						ſ				
	4 目	標に向かって順調に推	移している	┃□1 事業	内容・手法を	r改善	選択の					
	3 目	標に向かって順調に推	移していない	☑ 2 現在	の事業内容	を継続	理由	平成25年月	度までは継続	売		
	2 判	断できない		3 事務	事業を廃止							
				1 導入	 済							
(参				□ 2 事業	の全てが可能 の全でが可能	ŧ	選択の	マウいたご	ハノガリア日 △	かわいたみ		
今往	後のフ	アウトソーシング導入	の可否	□3 事業	の一部が可能	能	理 由		インク に兄行	わないため)	
				☑ 4 不可								
4 ±	扫当:	部長が考える今後	その方向性	• 見诵]				•				
- 7	=		を踏まえた				(参考)日	乍年度記載 (の「評価を認	ぎまえた課題	手と対策」	
		が優先的に利用で						「優先的に利				
	.25年	Fで整備費の一部 助	刃灰か終了	するため、生	が後は廃止	も見込まれ		たが、平成2	25年で整備	實の一部期	10成か終 「	
る。							する。					

				手	协节木	・計画ン	<u> </u>				
		年度実施の事務 25年度評価実施		✓ サービ	ス事業 🗌	プロジェクト事	業	定型事業	<u> </u>	设資的事業	
:		・区分(会計名を		☑ 一般:	会計] 特別会計	(介護保険)	企業会計	†()	財務会計上 の短縮番号	2115
分		1 期 実 施 計 画 号 / 事業番号 /	画 の ′ 枝番号	2022	4		担当	部課名	福祉	:部 介護保	険課
		L. Mar. Dank		•			担当	課長名		小松 伸	
		事業の概要		I							
施第					上・介護の充						
第 1	L期多	実施計画の事業名		介護保険物	特別対策事業						
財務	S 会計	上の事業名		介護保険特	特別対策事業	Ě					
事業	色の対	象【誰(何)を】		低所得者							
事業	美の手	段【どうする(させる)	ことで】	施設等利用	月の負担減免						
事業	美の目	的【どのような結果を	と得るか】	低所得者~	への利用料負	負担軽減を	する				
実施	週間]		☑ 継続	(平成12年	F度 ~)			艮 (平成	年度~平成	年度)
事業	*内容	 ぶの見直し		□ 実施	E (直近)	平成 年	 度		 ? 施		
		直し内容を記入			—/						
実施	包根拠	<u>L</u>		□□■・府	 守の制度	✓ 国•府	の制度+市	 独自の制度		<u></u> 虫自の制度	
	※根	拠となる法令の条項まで	でを記入	社会福祉法	と人による介	護保険利用		減制度事業	実施要綱		
2 事業コスト・指標値の推移											
		区 分	22 4	年度	23 ⁴		24 年度 (決算) 25 年度 (予算) H2			H24/H23	
	#		(決		(決		(決		l — — — — —		
		業 費(千円) 件 費 (人・千円)	0.00	0	0.00	0	0.00	$\frac{0}{1}$		413 78	
		正職員	0.00	0	0.00	0	0.00	0		78	
事	内	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	_
業	' '	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	_
コス	訳	非常勤職員		0		0		0		0	_
ト	<u></u>	アルバイト		0		0		0		0	
等	支	出合計A		0 0 0 491 0 309						_	
	財	国·府支出金 受益者負担 B								309	_
		その他財源									
	源	一般財源		0		0		0		182	_
	受益	者負担率 B÷A								102	-
							00 5-2	00 7-1-	0.4 5 5	0= 5	
		区 分	内		容	単位	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	目標値
指	(1)		ヘルプル	ビス利用者の	の金木士+/	I	(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
標	(1) (2)	□ 活動 ☑ 成果 □ 活動 ☑ 成果		ログ利用名の 福祉法人利		人人	0	0	0	1 5	1 5
値	(3)			ルプサービ		人	0	0	0	1	1
	(4)	□ 活動 □ 成果		, , , <u> </u>	·1-4714 🗖					1	1
2	` '	<u></u> の達成状況	<u> </u>			<u> </u>	ı				
_		<u>の達成れ<i>伝</i></u> 標に向かって順調に推利	ターアハス	□ 1 車業		<u></u> sみ		出体10.1	(ナイギ m ^a	(1分)、11口##・	OLS HHOW
		1標に向かって順調に推利 1標に向かって順調に推利			EM谷・ナ <i>本</i> で Eの事業内容		選択の		ヽため効果浿 。ケースに対		
		川断できない	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		ちゅうだい という ままる という ない という ない こうしょ こうしゅ こうしゅ こうしゅ という はい こうしゅ しょう しゅう かいしょう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅ	○ 171 176	理由	必要	,	,	· /\~\ \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\
				□ 1 導力				i			
(参:	考)				**/- 美の全てが可能	Ė	選択の	ID IP会 本みざせ	かんなる事業	4	
		アウトソーシング導入	の可否		美の一部が可能		理由	未陝石かり	対組む事業	5	
				✓ 4 不可	T能						
4	担当	部長が考える今後の									
		評価	を踏まえた説	果題と対策			(参考)	昨年度記載	の「評価を路	皆まえた課題	と対策」
 実績に基づく評価は困難だが、低所得者への負担軽減を図るためこの事業 実績に基づく評価は困難だが、低所得者 を継続する. を図るためこの事業を継続する.								所得者への	負担軽減		
と対	が元り	ు.					ど凶るだめ	こい争業を	胚就りる.		

	事務事業計価シート 24年度実施の事務事業											
		年度実施の事務 (25年度評価実施		☐ サーI	ビス事業	☐ プロジェクト∄	事業	/ 定型事業	□投	資的事業		
会	計口	区分(会計名	を記入)	□一般会計	†☑ 特別会詞	┤ 介護保険事	業特別会計)	□ 企業会計	-()	財務会計上 の短縮番号	8931	
第分	1 類番	期実施計画号/事業番号/	□ で の / 枝番号	2022			担当	部課名	福祉部	高齢•福祉	総務課	
/ /	УШ	3 / J. A. H. 3 /	V H	<u> </u>			担当	課長名		瀬谷 宗久		
1 3	事務	事業の概要										
施策	名			高齢者福祉	止・介護の充	実						
第1其	朝実力	施計画の事業名		家族介護支	と 援事業							
財務	会計	・上の事業名		家族介護支	支援事業							
事業	の対	象【誰(何)を】		65歳以上	で、介護保隆	険の要介護	度が4、5及	び市・府民科	が非課税で	で在宅の者。)	
事業	の手	段【どうする(させる	5)ことで】	常時おむて	つが必要な高	高齢者に紙:	おむつ券を	給付し、在学	を介護の支	援を行う。		
事業	の目	的【どのような結果	を得るか】	家庭の経済	脊的負担の	怪減を図る。						
実施	期間			☑継続	(平成 年	三度 ~)		□ 時 限	(平成	年度~平成	年度)	
事業	内容	の見直し		□ 実 施	(直近)	平成 年	 度	☑未実	— — 施			
	※見	直し内容を記入										
実施	根拠	<u>.</u>		□国•府	の制度	■■・府の制	度+市独自	の制度 🗸	市独自の制度	Ę		
	※根	拠となる法令の条項	までを記入	池田市要介	護高齢者	紙おむつ給	付事業実施	近要綱				
2 4												
	区分 22 年度 (決算) 23 年度 (決算) 24 年度 (決算) 25 年度 (決算) H24/H23											
		· 業 費(千円)	(次	昇) 1,074	(沃	<i>昇)</i> 976	(次	:异 <i>)</i> 897	(7)	昇) 997	91.9%	
		件 費 (人・千円)	0.20人	1,600	0.10人	800	0.10人	475	0.10人	475	59.4%	
事	, .	正職員	0.20人	1,600	0.10人	800	0.05人	390	0.05人	390	48.8%	
		再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	_	
業	内訳	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	_	
コス	H/ X	非常勤職員		0		0		0		0	_	
} **		アルバイト		0		0	0.05人	85	0.05人	85	-	
等	文	出合計A		2,674		1,776	1,372 531			1,472	77.3%	
	財	国·府支出金 受益者負担 B		644		585		531		591	90.8%	
	7.14	その他財源		215		196		189		209	96.4%	
		一般財源		1,815		995		652		672	65.5%	
	受益	者負担率 B÷A									-	
							22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	目標値	
		区 分	内		容	単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)	
指標	(1)	□ 活動 ☑ 成果	:	利用延人数	<u> </u>	人	131	113	98	80	80	
信値	(2)	□活動 ☑ 成果		利用延枚数	(枚	1,074	976	897	960	960	
	(3)	□ 活動 □ 成果										
	(4)	□ 活動 □ 成果										
		の達成状況					1	1				
E	3 目	標に向かって順調に推 標に向かって順調に推		☑ 2 現在	内容・手法をの事業内容を		選択の 理 由	者の介護接	会において、 受助ひいては とにも資する	当該事業には家族の介護	は在宅高齢 護疲れ等を	
	シ 判	断できない			事業を廃止 				_,-UR) '			
(参 今後		アウトソーシング導力	の可否	l —	の全てが可能 の一部が可能		選択の 理 由	池田市社会	会福祉協議会	会に委託済	0	
4 ‡	担当:	 部長が考える今後	後の方向性	· 見诵し								
1		⇒π /π²	を踏まえた	田田工工工法			(参考)	作年度記載	の「評価を路	皆まえた課題	巨と対策」	
		者の見直し等によ 必要	り、利用者数	数の減少を置	踏まえ、サー	・ビス内容						

	争 務 争 耒 計 恤 ン 一 ト 24年度実施の事務事業 (25年度証価実施) □ サービス事業 □ プロジェクト事業 □ 定型事業 □ 投資的事業											
		年度実施の事務 (25年度評価実施		□ サーI	ビス事業	プロシェクト	事業	/ 定型事業	□投	資的事業		
会	計[区分(会計名		□一般会計	廿☑ 特別会計	∜ 介護保険事	業特別会計)	□企業会計	·()	財務会計上 の短縮番号	8934	
第分		期 実 施 計 画 号/事業番号/		2022			担当	部課名	福祉部	高齢•福祉	総務課	
<i>)</i> ,	<i>^</i> У, ш	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	V H V	:	<u> </u>		担当記	課長名		瀬谷 宗久		
1 3	事務	事業の概要										
施策	名				上・介護の充							
		施計画の事業名		-	E活支援事							
		上の事業名			E活支援事業							
事業	の文	け象【誰(何)を】		食事の準備	前が困難なて	かとり暮らし、	または高歯	怜者のみの∜	世帯			
事業	(の手	段【どうする(させる)ことで】	食事の準備	前が困難なて	かとり暮らし、	または高歯	怜者のみの∜	世帯に昼食を	を宅配する。		
事業	色の目	的【どのような結果	を得るか】	生活の自立	Zと食事の質	「の確保を図	図ることにより	の、高齢者の	健康保持•	増進に資す	る。	
	期間	•		☑ 継 続	(平成 年	度 ~)		□ 時 限	(平成	年度~平成	年度)	
事業	大内容	ドの見直し		□ 実 施	(直近)	平成 年	度	☑未実	施			
	※見	直し内容を記入										
実施	根拠	L		□■■・府	の制度	■■・府の制	度+市独自	の制度 🗸	 市独自の制度	Ę		
	※根	· 拠となる法令の条項	までを記入	池田市給食	食宅配サート	ごス事業実施						
2	事業	コスト・指標値の推	推移				_		1			
区 分 22 年度 (決算) 23 年度 (決算) 24 年度 (決算) 25 年度 (決算) (予算)												
	 事	事業費(千円)	(1)	10,346	(1)	9,780	(1)	9,625	(1)	好 / 10,754	98.4%	
		件費(人・千円)	0.20人	1,600	0.10人	800	0.10人	475	0.10人	475	59.4%	
		正職員	0.20人	1,600	0.10人	800	0.05人	390	0.05人	390	48.8%	
事業	内	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	_	
来コ	訳	任期付短時間勤務職員 非常勤職員		0		0		0		0	_	
ス		が アルバイト		0		0	0.05人	0 85	0.05人	0 85		
等	支	: 出合計 A		11,946		10,580						
		国·府支出金		6,207		5,868		5,702		6,372	97.2%	
		受益者負担 В									103.4%	
	源	その他財源		2,070		1,956						
	三	一般財源 A		3,669		2,756		2,375		2,599	86.2%	
		THREE DIA								1		
		区 分	内		容	単位	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	目標値	
指標	(1)	□ 活動 ☑ 成果		利用人数		¥	(実績) 157	(実績) 137	(実績) 106	(予定)	(H26) 90	
標値	(2)	□活動 ☑ 成果		食数		人	21,131	17,164	13,844	16,200	16,200	
胆	(3)	□活動□成果				~	21,101	11,101	10,011	10,200	10,200	
	(4)	□ 活動 □ 成果										
3)	戊果	の達成状況										
اٰٰٰ	3 目	標に向かって順調に推 標に向かって順調に推		☑ 2 現在	内容・手法を の事業内容を 事業を廃止		選択の 理 由		会において、 増進に資す		よ高齢者の	
(参 今往	考) 後の7	<u>断できない</u> アウトソーシング導入		✓ 1 導入☐ 2 事業☐ 3 事業☐ 4 不可		選択の 理 由	社会福祉協	協議会に委託	托済。			
4	担当	部長が考える今後					(-/ \ - / \			√_1	- 1 1 hoho	
		評価	を踏まえた	課題と対策			(参考)	作年度記載	の「評価を路	当まれた課題	と対策」	
民間	事業	美者参入に伴い、利	用者のニー	ぶに合った	事業の展開	を検討						

				*	7カ ず 木		<u> г</u>				
		l年度実施の事務 (25年度評価実施			ごス事業	□ プロジェクト ^ュ	事業	☑ 定型事業	□投	資的事業	
		区分(会計名		□ 一般会計	廿☑ 特別会詞	┼ 介護保険事	業特別会計)	□ 企業会計	·()	財務会計上 の短縮番号	8932
		期 実 施 計 画		2022			担当	部課名	福祉部	高齢•福祉	:総務課
						:	担当	課長名		瀬谷 宗久	
		事業の概要									
施第				高齢者福祉							
-		施計画の事業名		成年後見制							
		十上の事業名		成年後見制							
事業	美の対	対象【誰(何)を】		成年後見制							
事業	美の手	=段【どうする(させる)ことで】	以内の親族	ほがいない高	島齢者等に	ついて、市	に後見人の 長が審判開始	台の申立人。	となる	
		目的【どのような結果	を得るか】	人を保護し	、権利が守	られる。	に高齢者の	身上監護を原			
実施	期間	l l		☑ 継 続	(平成 年	E度 ~)		□ 時 限	(平成	年度~平成	年度)
事業	纟内名	ドの見直し		□実施	(直近)	平成 年	 度	☑ 未 実	— —— 施		
	※ 5	見直し内容を記入									
実施	起根执	<u>L</u>		✓ 国•府	の制度	■■・府の制	度+市独自	の制度	 市独自の制度		
	※相	と 拠となる法令の条項	までを記入	老人福祉法	法第32条						
2	事業	コスト・指標値の推	達移								
	- /	区分	22 ^全 (決:			年度 :算)		年度	25 ^在 (予:		H24/H23
	耳	事業費(千円)	(1)(开) ()	(1)	· 开) ()	(1)	(开)	(1)	弄) 1,199	
		件 費 (人・千円)	0.20人	1,600	0.10人	800	0.05人	390	0.05人	390	48.8%
		正職員	0.20人	1,600	0.10人	800	0.05人		0.05人	390	48.8%
事		再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
業	内訳	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	_
コス	H/ X	非常勤職員		0		0		0		0	-
<u>۲</u>	<u>_</u>	アルバイト		0		0		0		0	_
等	支	出合計 A								1,589	48.8%
		国•府支出金		0		0		0		710	_
	財源	受益者負担 B その他財源								252	_
	1///	一般財源		1,600		800		390		627	48.8%
	受益	注者負担率 B÷A		1,000		000		030		021	-
_	7~					1					
		区 分	内		容	単位	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	目標値
指	(1)			中 和田 老 粉			(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
標	(1) (2)	□ 活動 □ 成果 □ 活動 □ 成果	:	実利用者数	•	回	0	0	0	2	2
値	(3)	□活動□成果									
	(4)	□ 活動 □ 成果									
3	, ,	の達成状況					1				·
_		標に向かって順調に推	移している	1 事業	内容・手法を	 ·改善					
_		標に向かって順調に推				E継続	選択の 理 由	高齢者の増れる。	曾加により、こ	ニーズは高る	まると思わ
<u></u>	C 判	断できない		□3 事務	事業を廃止						
				☑ 1 導入							
(参:		アウトソーシング導入	の可否		の全てが可能	_	選択の 理 由	リーガルサ	ポート等に刻	委託可能	
71	メソノ	・ フェィーママフ 守か	V-7 . J 🗖	□ 3 事業	の一部が可育 能	Ē					
4	担当	部長が考える今後	後の方向性								
		評価	を踏まえた	課題と対策			(参考)	昨年度記載	の「評価を路	いまえた課題	[と対策]
0.45		トベウははいいかっ	- とため ロリー	1 J	13水元十一、1	出土ロン 一	OAFE 바스.	表出体).1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.	(3) 上ケバ	2日1マン・・・	- Aleska
		まで実績はないが、) 業は必要であると思		こついての作	談は年々り	自加し(い		で実績はない している。本			

				于 7カ ⁻	于 木	計画ン	17				
		年度実施の事務 25年度評価実力		□ サービス事業	: 🗌 🧷	プロジェクト事	業 🗸 :	定型事業		设資的事業	
:	会 計	・区分(会計名を	記入)	□ 一般会計	√	特別会計	(介護保険)	企業会計	H()	財務会計上 の短縮番号	8750
分		1 期 実 施 計 画 号 / 事業番号 /	画 の 枝番号	2022			担当	部課名	福祉	:部 介護保	険課
- / /							担当詞	果長名		小松 伸	
		事業の概要									
施第		なおきまです。		高齢者福祉・介護		=					
	- , , , ,	実施計画の事業名		介護保険徴収事	美 ———						
		十上の事業名 		賦課徴収事業 被保険者							
		「家【誰(四)を】 「段【どうする(させる)	> レ で 【		笠の卍.	/レ ロ麻垢	三共の批准				
事未				普通徴収収納対	水り畑		(音の推進				
事業	(の)	的【どのような結果を	そ得るか】	介護保険料収納		Ŀ					
実施	期間	1		☑ 継続(平)		度 ~)		□ 時 🛚	艮 (平成	年度~平成	年度)
事業	大字	いい 見直し アンドラー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		□ 実施 (፲	直近)平	で成 年月		☑ 未実	施		
	※見	直し内容を記入									
実施	起根拠	<u>L</u>		□ 国・府の制度	ŧ	✓ 国·府	の制度+市	独自の制度	□ 市独	虫自の制度	
	※根	拠となる法令の条項まで	でを記入	介護保険法第12	29条						
2	車業		——— 移								
Ē	, ,,	区 分	22 4	年度	23 年			年度		年度	H24/H23
	事	業費(千円)	(決	算) 42	(決算	i) 34	(決算)		(予算)		·
		件 費(人・千円)	0.01	43 80 0.01			0.01	38 78	0.01	77 78	111.8%
		正職員	0.01	80	0.01	80 80	0.01	78	0.01	78	100.0%
事業	内	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	_
来コ	訳	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	_
ス	н/	非常勤職員アルバイト		0		0		0		0	
等	支	出合計A		123	114		116		155	101.8%	
	財	国·府支出金									_
		受益者負担 B その他財源		43		33		37		60	110.10
	源	一般財源		80		81		79		95	112.1% 97.5%
	受益	在者負担率 B÷A									_
			- 1	,,		ᄴᄯ	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	目標値
ملا		区分	内	容		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
指標	(1)	-		通徴収保険料収約	納率	%	85.3	84.6	85.6	86.5	87.0
値	(2)	-		口座振替率		%	26.0	26.8	24.4	26.0	26.5
	$\frac{(3)}{(4)}$	□ 活動 □ 成果 □ 成果 □ 成果									
3)	` /	の達成状況			<u> </u>						
		************************************	 多している	✓ 1 事業内容・	·手法をご	火善)33 [H -		l / l .d)	2 / 441 144 / 5	
		目標に向かって順調に推利 引断できない	多していない	_			選択の 口座振替率・収納率ともに微増減しており、 理 由 収納率向上のための対策が必要と考える。				
f	•		_	□ 1 導入済					4-3m	* 井本) ァ 日日・ユーツ	光砂ルマ
(参:		アウンケー・マックが着す	の可不	□ 2 事業の全てが可能			選択の	ウトソーシン	□昧、□ 坐版 ✓グは可能と	₹替に関する :考えるが、糸	・未務はブ 内付相談等
=	1攵()	アウトソーシング導入	の刊台	✓ 3 事業の一部 ☐ 4 不可能	ゆか 可能		理 由	は困難。			
4	担当	部長が考える今後	 の方向性・	<u></u> 見通し			1	ı			
	_		を踏まえた記				(参考)	作年度記載	の「評価を路	当まえた課題	と対策」
				上予定。臨戸訪問に軸足を置いた制度							
	、自 :)課題		가する。新作	体制下での収納対策の工夫が今							

7/r == 41k =

				争	務 事 業	評価シ	<u> </u>				
		年度実施の事務 (25年度評価実施の事務)		□ サービス	事業 🗌	プロジェクト事	業 🗸	定型事業		设資的事業	
	会計	十区分(会計名を	記入)	□ 一般会	:計 🗸	· 特別会計	(介護保険)	企業会計	-()	財務会計上 の短縮番号	8770
分	第類番	1 期 実 施 計 画 号 / 事業番号 /	画 の ′ 枝番号	2022			担当	部課名	福祉	部 介護保	険課
- 20	// Ш	o / January	N/H V	<u>. </u>	:		担当	課長名		小松 伸	
		事業の概要			A - W						
施第				高齢者福祉		· 					
_		実施計画の事業名 十上の事業名		介護保険事認定調査事							
_		T上の事業名 対象【誰(何)を】		介護保険申							
		三段【どうする(させる)	ことで】	調査対象者の		犬況、介護の)手間等を詞	<u></u> 周査する			
事業	の 目	目的【どのような結果を	と得るか】	介護認定取	得のための	介護認定智	審査会への				
実施	期間			✓維続	(平成124	年度 ~)			1 (平成	 年度~平成	年度)
	/	<u>* </u>		□ 実施	(直近)	, ,	 度	─────────────────────────────────────		. ,,,	
		L直し内容を記入									
実施	1. 根拠			□ □ 国•府(の制度	□□■・府	の制度+市	<u></u> 独自の制度	───── 市湖	<u></u> は自の制度	
		- 引拠となる法令の条項まで	でを記入	介護保険法2							
2	車業		移	l							
	, 	区分		年度 算)	23 ⁴ (決			年度:第)	25 ^在 (予:		H24/H23
	事	業 費(千円)	() (34,186	(0)	35,096		37,174		43,149	105.9%
	人	件費(人・千円)	4.20	10,800	4.20	11,200	4.20		4.20	11,160	100.0%
事	н-	正職員 再任用短時間勤務職員	0.20	1,600	0.20	1,600 0	0.20	1,560	0.20	1,560 0	100.0%
業	内	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	_
コス	訳	非常勤職員	4.00	9,200	4.00	9,600	4.00	9,600	4.00	9,600	100.0%
ト		アルバイト		0		0		0		0	
等	_ 支	出合計A 国·府支出金		44,986	44,986 46,296 48,334					54,309	104.4%
	財	受益者負担 B									_
	源	その他財源		6		9		3		0	33.3%
	巫.→	一般財源 		44,980		46,287		48,331		54,309	104.4%
	又旬	社有其担学 DTA									
		区 分	内	5	容	単位	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	目標値
指	(1)	□ 活動 ▽ 成果	主治医	意見書作成	E数料	千円	(実績) 5,024	(実績) 5,242	(実績) 5,529	(予定) 5,700	(H26) 6,000
標値	(2)			i調査員による		件	1,595	1,638	1,737	1,836	2,000
	(3)	☑ 活動 □ 成果	それり	以外の事業所	調査	件	3,517	3,529	3,774	3,873	4,000
	(4)	□ 活動 □ 成果									
		の達成状況				,		1			
	В	目標に向かって順調に推利 目標に向かって順調に推利 判断できない		☑ 2 現在(内容・手法な の事業内容 事業を廃止		選択の 理 由	の急増による	速に進行する 5煩雑極まりな 査会へまわせ	い認定作業	において少
 (参: 今)アウトソーシング導入	の可否	□ 1 導入済 □ 2 事業の全てが可能 □ 3 事業の一部が可能 □ 4 不可能			選択の 理 由	査について	上書について は、指定市)準備が整え	町村事務受	託法人と
4	担当	部長が考える今後					/ /> -/			v.L > 1m r-	= 1 _L helps
		評価	を踏まえた説	果題と対策			(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」				
年々	増力	後サービス提供の基礎 □する申請件数に対し i的に検証してゆく。									

					カナネ						
		年度実施の事務 25年度評価実力			ス事業 🗌	プロジェクト事	≨業	定型事業	土	设資的事業	
É	会計	・区分(会計名を	·記入)	□ 一般会	会計	特別会計	(介護保険)[企業会計	t()	財務会計上 の短縮番号	8765
分		1 期 実 施 計 画 号 / 事業番号 /		2022			担当台	祁課名	福祉	部 介護保	険課
73,	Ж Н	7	(人田 7)	<u> </u>	<u> </u>	:	担当記	果長名		小松 伸	
		事業の概要									
施策				高齢者福祉		実					
		に施計画の事業名		介護保険事		+ JIK					
		上の事業名		共同介護認							
		象【誰(何)を】		要介護(要う							
事業	の手	段【どうする(させる)	ことで】	池田市、豊富	能町、能勢	町の1市2町	「が共同で認	忍定審査会を	を開催		
事業	の目	的【どのような結果を	と得るか】	要介護(要う	支援)の判定	定を行う					
実施	期間	j		☑継続	(平成12年	F度 ~)			(平成	年度~平成	年度)
事業	内容	の見直し		☑ 実施	(直近)	平成23年度	Ę	□ 未実	施		
	※見	直し内容を記入		審査会のチ	ーム編 _{成を}	適宜調整。	認定審査会	会室を市庁舎	きに移転。		
実施	根拠	L		✓ 国•府	の制度	□ 国•府	の制度+市	独自の制度	□ 市独	独自の制度	
	※根	拠となる法令の条項まで	でを記入	介護保険法	第14条						
2 4	事業	コスト・指標値の推	——— 移	l							
	3- <u>7</u> C	区分	22 4	年度	23 名		24 年度		25 年度		H24/H23
	市	業費(千円)	(決	算) 7,702	(決	算) 7,956	(決		(予		
		件費(人・千円)	4.40	16,960 4.40 17,20				9,294 16,970	4.55	6,797 16,170	116.8% 103.4%
		正職員	1.00	8,000	1.00	8,000	0.95	7,410	0.95	7,410	95.0%
事業	内	再任用短時間勤務職員	1.00	3,600	1.00	3,600	1.00	3,600		0	100,000
コ	訳	任期付短時間勤務職員 非常勤職員	2.00	4,600	2.00	4,800	2.20	5,280	1.00 2.20	2,800 5,280	
スト	,, .	アルバイト	0.40	760	0.40	800	0.40	680	0.40	680	100.0%
等	支	出合計A		24,662	-	25,156		26,264		22,967	
	財	国·府支出金									_
		受益者負担 B その他財源		2,120		2,164		2,581		1,964	119.3%
	源	一般財源		22,542		22,992		23,683		21,003	
	受益	者負担率 B÷A									_
		E /\	Д.		rt->	77 /T-	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	目標値
41-		区分	内		容	単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
指標	(1)	-		開催件数		件	262	274	273	290	290
値	(2)	-		かたりの審査		件	26.2	25.8	28	30.4	30.0
	(3) (4)	□ 活動 □ 成果 □ 成果 □ 成果 □ 成果		定に要する日 査会チーム		人	31.8	32.0	35.2	35 24	34.0
3 F	, ,	<u>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</u>	<u> </u>	<u> </u>	~/ `	<i>/</i> \	22	22		<u> </u>	<i>2</i> 1.0
_		<u>▽フィ҈҄҄エススィへひに</u> 標に向かって順調に推利	多している	□ 1 事業	内容・手法を	<u></u>	/a= 1 ↔	高齢化が急	急速に進行す	よる社会環境	竟の中で
		標に向かって順調に推和 断できない	多していない		の事業内容	を継続	選択の 理 由	1市2町の非	共同開催に 。		
	C +	回りてきない	_	□ 3 事務事業を廃止 □ □ 1 道 λ 済			結果を出している。 				
(参	考)			│			選択の	審査会の準	≛備・進行・≣	事後処理に	係る事務処
今	後の	アウトソーシング導入	の可否		の一部が可能	能	理 由	理について	は、検討の	余地あり。	
<u> </u>	an s t s	المعالجة والمستحدد المستحدد ال	t	4 不可	能	_					
4 }	世当:	部長が考える今後の評価		生・見通し た課題と対策			(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」				シ対策」
		н ј јш	CPD 5/L/C	WCCV1 X							
				・「円脷惟によるメリツト・アメリツトを止して継続的に検証している			は、共同開	急増による煩 催によるメリ を期的な展室	ット・デメリッ	小をしっかり	と見極め、

				- 手	粉 爭 茉	語 畑 ン	<u> </u>							
		年度実施の事務 25年度評価実施		√ サービ	ス事業 🗌	プロジェクト事	業	定型事業		设資的事業				
	会計	ト区分(会計名を	記入)	□ 一般:	会計 🗸] 特別会計	(介護保)	企業会計	t()	財務会計上 の短縮番号	8931			
分		1 期 実 施 計 画 号 / 事業番号 /		2022			担当	部課名	福祉	部 介護保	険課			
- /3	<i>у</i> у ш	5 / 子水田 5 /	(人田)	·	:;	:	担当	課長名		小松 伸				
		事業の概要												
施第				高齢者福祉	上・介護の充	実								
		実施計画の事業名		介護保険事										
_		十上の事業名		家族介護式	-									
		対象【誰(何)を】			の要介護高			月していない	ハ亜介雑草	齢者の家族	介護者に			
事業	色の手	=段【どうする(させる) 	ことで】	対し、慰労		月暖怀厥》	しハを作	用していない	(女 /) 曖 同		月 唆石 (こ			
事業	色の目	目的【どのような結果を	と得るか】	継続的な有	E宅ケアに資	する								
実施	期間	Ī.		✓継続	· (平成134	年度 ~)		□ 時『	艮(平成	年度~平成	年度)			
事業	美内容	Fの見直し		□ 実施	E (直近)	平成 年	变	☑ 未実	施					
	※見	直し内容を記入												
実施	包根技	Л.		□ 国・府	□ 国・府の制度 □ 市独自の制度 □ 市独自の制度									
	※ 标		でを記入	池田市家屋	埃介護者慰 勞					<u> </u>				
					() () ()			-						
$\frac{2}{}$	争業	コスト・指標値の推		年度 23 年度			2.4	年度	25 4					
		区分		:算)	(決		(決算)		(予		H24/H23			
		業費(千円)		0 0.00				0		300	_			
	人	件 費(人·千円) 正職員	0.00	0	0.00	0	0.00	0		78 78				
事	内	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	_			
業コ		任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	_			
コス	訳	非常勤職員		0		0		0		0	_			
ト等		アルバイト 出 合 計 A		0		0		0		378				
4		国·府支出金								178	-			
	財	受益者負担 B									_			
	源	その他財源一般財源				0		0		63	_			
	受記	一般的原 益 者負担率 B÷A		0		0		0		137	_			
			' 		1		00 5 5	00 7-7-	04 7 7	05 5- 5-				
		区 分	内		容	単位	22 年度 (実績)	23 年度 (実績)	24 年度 (実績)	25 年度 (予定)	目標値 (H26)			
指揮	(1)			支給世帯		人	0	0	0	3	3			
標値	(2)					-								
	(3)													
	(4)	-								<u></u>				
3 ,		の達成状況	·					T						
	В	目標に向かって順調に推動 目標に向かって順調に推和 WWKできない		☑ 2 現在	業内容・手法を 王の事業内容	を継続	選択の 理 由			別定は困難だ 応すべく、₹				
✓	C #	判断できない			务事業を廃止 			心女						
(参	考)			1 導力	∖済 美の全てが可負	Ė	選択の	/D 7/A +/ >>~	510 √n → -110 √n 5	4				
		アウトソーシング導入	の可否	3 事業	美の一部が可食		理由	保険者が則	対組む事業	Ē				
<u> </u>	I	Ampong to Contact	_ 1	☑ 4 不同	丁能									
4	担当	部長が考える今後					(昨年度記載	の「誣価を関	水丰ラた細草	レ対第二			
		一 计侧位	と呼よんだ。	た 課題と対策 (参考			(参与)	一十一文礼戦	マク・	日よんに味度	SCVIW]			
			、低所得者	得者への負担軽減を図るため、継続的										
に第	を施す	~ る。												

				7	分子 未	:計 1曲 ン	— I ²				
		年度実施の事務 25年度評価実施		✓ サービ	ス事業 🗌	プロジェクト事	業 📗	定型事業		设資的事業	
:	会 計	・区分(会計名を	·記入)	□ 一般:	会計 🗸	· 特別会計	(介護保険)	企業会計	H()	財務会計上 の短縮番号	8933
分		1 期 実 施 計 画 号 / 事業番号 /	画 の ′ 枝番号	2022			担当	部課名	福祉	:部 介護保	険課
,,,		, , , , , ,	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		·		担当	課長名		小松 伸	
		事業の概要		L							
施第				高齢者福祉	上・介護の充	医					
		上の事業名		福祉用具・1	住宅み修支						
		エッチ来石 像【誰(何)を】		理由書作成			 É				
		段【どうする(させる)	ことで】	居宅介護(介護予防) 🤊		を受けてい	ない被保険	者 に係る理	由書を作成	したケアマ
事業	の目	的【どのような結果を	と得るか】	作成経費の	一部を助成						
実施	期間]		☑ 継続	: (平成13年	F度 ~)		□ 時 🛚	艮 (平成	年度~平成	年度)
事業	内容	での見直し		□ 実施	(直近)	平成 年月	变	☑ 未実	施		
	※見	直し内容を記入									
実施	根拠	 <u>L</u>		□ 国•府	 Fの制度	✓ 国•府	の制度+市	 独自の制度		 虫自の制度	
	※根	拠となる法令の条項まで	 でを記入	池田市住宅	: : 改修支援	事業補助金	 交付要綱				
2		コスト・指標値の推									
	尹未	区分	22 4	年度	23 名		24 年度 (決算)			年度	H24/H23
	事	業 費(千円)	(沃	·算) 76	(決:	<i>异)</i> 78	(決	:异 <i>)</i> 86	(予	<i>昇)</i> 120	110.3%
		件費(人·千円)	0.02		0.02	160	0.02		0.02	156	
#		正職員	0.02	160	0.02	160	0.02		0.02	156	100.0%
事業	内	再任用短時間勤務職員 任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	
コス	訳	非常勤職員		0		0		0		0	_
<u>۱</u>		アルバイト		0		0		0		0	_
等		出合計A		236		238		242		276	•
	財	国·府支出金 受益者負担 B		46		47		51		71	108.5%
	源	その他財源		15		16		18		25	112.5%
		一般財源		175		175		173		180	98.9%
	受益	在者負担率 B÷A								_	_
		区 分	内		容	単位	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	目標値
指	1:5			H> /d. \W			(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
標	(1) (2)			助成件数		件	38	39	43	60	60
値	(3)										
	(4)	□ 活動 □ 成果									
3)	成果	の達成状況									
	ВЕ	目標に向かって順調に推利 目標に向かって順調に推利		☑ 2 現在	大内容・手法を でもままり容	を継続	選択の 理 由	補助金支約	合事務のため		
✓	C ¥	川断できない			8事業を廃止 			<u> </u>			
(参 今		アウトソーシング導入	の可否	□ 1 導入済□ 2 事業の全てが可能□ 3 事業の一部が可能□ 4 不可能			選択の 理 由	保険者が取	対組む事業	45	
4	担当	部長が考える今後の	 の方向性・				1				
			を踏まえた記				(参考)	昨年度記載	の「評価を路	皆まえた課題	[と対策]
制度	: のは	っては必須の事業であ	うろため 宝	績の多寘に	盟わらず ≤	き後も引き			_		
		を継続する。	バッパパン、大	//冥∨/沙芬(□	747りょう	I IX O'JIC					

				一份 争 未	評価ン	<u> </u>				
	24年度実施の事務 (25年度評価実施の事務のである。) (25年度評価実施の事務のです。) (25年度評価実施の事務の事務の事務の事務の事務の事務の事務の事務の事務の事務の事務の事務の事務の		□ サービ	ス事業 □	プロジェクト事	業 🗸	定型事業		投資的事業	
=	会計区分(会計名を	記入)	☑ 一般:	会計	特別会計	()[企業会計	-()	財務会計上 の短縮番号	2382
分	第 1 期 実 施 計 画 類番号 / 事業番号 /	画 の 枝番号	2022			担当台	部課名	福祉	:部 介護保	険課
74		NH V		:		担当記	果長名		小松 伸	
	事務事業の概要									
施策			高齢者福祉	Ŀ・介護の充	実					
× 1.	り期実施計画の事業名									
	S会計上の事業名			T設等整備社						
	どの対象【誰(何)を】			リサービス事						
事業	美の手段 【どうする(させる) 	ことで】	スプリンクラ	一や火災追	日報設備の記	と置に対する	る交付金をな	を付 		
事業	きの目的 【どのような結果を	と得るか】	施設の適正	Eな整備促進	進を図る					
実施	西期間 一		□ 継続	(平成	年度 ~)		✓ 時 🛭	艮 (平成24	年度~平成	24年度)
事業	(内容の見直し		□ 実施	(直近)	平成年月	度	✓ 未実	施		
	※見直し内容を記入									
実施	互根拠 「			可の制度		の制度+市			虫自の制度	
	※根拠となる法令の条項まで		介護保険法	去、大阪府介 ————————————————————————————————————	護基盤緊急	整備等臨	時特例基金	条例 ————		
2	事業コスト・指標値の推		for the	20.4		2.1	F- F-	0.5	F 1	
	区 分		年度 23 年度 (決算) (決算)			24 年度 (決算) 25 年度 (予算)			H24/H23	
	事業費(千円)	0.00	0 0.00 0			0.01	793	0.00		_
	人 件 費 (人·千円) 正職員	0.00	0	0.00	0	0.01	78 78	0.00	0	
事	内再任用短時間勤務職員		0		0	0.01	0		0	_
業コ	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	_
ス	非常勤職員 アルバイト		0		0		0		0	
事	支出合計A		0		0		0 871		0	
',1	国·府支出金						793			_
	財 受益者負担 B									_
	源。その他財源		0				70			_
	一般財源		0		0		78		0	_
	文皿市東西中 017						. 1			<u> </u>
	区 分	内		容	単位	22 年度 (実績)	23 年度 (実績)	24 年度 (実績)	25 年度 (予定)	目標値 (H26)
指標	(1)	火災通報記	受備の整備が	色設数	施設	0	0	3	0	3
値	(2)									
	(3) □ 活動 □ 成果									
	(4)						<u> </u>			<u> </u>
	成果の達成状況	<u></u>	□ ₁ ± 1	* m =	- 		<u> </u>			
	A 目標に向かって順調に推和 B 目標に向かって順調に推和			関ける・手法な Eの事業内容		選択の			あり、継続性	を求めるも
	C 判断できない			8事業を廃止		理由	のではない	0		
			□ 1 導力	\済						
(参		の司不	_	きの全てが可能 ***・*********************************		選択の			事務を整え	る業務であ
	、後のアウトソーシング導入	の刊省		♥の一部が可† T能	比	理 由	り、委託に	Υ I山′\ハ** / °		
<u> </u>	担当部長が考える今後の	の方向性。					l			
± :		を踏まえた記				(参考)	作年度記載	の「評価を路	沓まえた課題	[と対策]
	を年度における各事業者の 近の是非自体を年度単位で			内容である	ため、事業					

			7	竹 尹 未	評価ン	<u> </u>				
	24年度実施の事務 (25年度評価実施の事務のである。) (25年度評価実施の事務のです。) (25年度評価実施の事務の事務の事務の事務の事務の事務の事務の事務の事務の事務の事務の事務の事務の		□ サービ	ス事業 🔽	プロジェクト事	業 🗌 :	定型事業		设資的事業	
	会計区分(会計名を	記入)	✓ 一般:	会計] 特別会計	()[企業会計	+()	財務会計上 の短縮番号	
分	第 1 期 実 施 計 画 類番号 / 事業番号 /	頭 の 枝番号	2022			担当	部課名	福祉	部 介護保	険課
//	烈田·5 / 尹宋田·5 /	次曲り			:	担当詞	果長名		小松 伸	
	事務事業の概要									
施第	受名 1 期実施計画の事業名		高齢者 福祉	上・介護の充	<u></u>					
	R会計上の事業名	-	市営花園住	字跡地活月	用事業者選定	字事業				
	巻の対象【誰(何)を】				用事業に対す		 業者			
事業	类の手段【どうする(させる)	ことで】	プロポーザ	ル方式によ	り事業者提案	案を評価				
事業	类の目的【どのような結果を	:得るか】	施設の建設	は・運営を担	う最適な事業	美者を選定	する			
	並期間		□ 継続	平成	年度 ~))	✓ 時 №	叉 (平成24年	F度~平成:	24年度)
事業	学内容の見直し		」 実施	(直近)	平成 年度	隻	□ 未実	施		
	※見直し内容を記入									
実施	直根拠			の制度		の制度+市		☑ 市独	自の制度	
	※根拠となる法令の条項まで				用事業者評价 用事業者募集					
2	事業コスト・指標値の推っ	•			_					
	区 分	22 年 (決算		23 ⁴ (決			年度 第)	25 ^左 (予		H24/H23
	事 業 費(千円) 人 件 費 (人·千円)	0.00	0	0.00	0	52.00	78	0.00	0	_
	正職員	0.00	0	0.00	0	0.01	78	0.00	0	_
事業	内 再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	_
ハコ ス	任期付短時間勤務職員 訳 非常勤職員		0		0		0		0	
1	アルバイト		0		0		0		0	
等	支 出 合 計 A 国·府支出金		0		0		78		0	
	財 受益者負担 B									_
	源 その他財源 一般財源		0		0		78		0	
	受益者負担率 B÷A		U.				10		U	_
				宏	况 (产	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	目標値
指	区 分	内	·	容	単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
標	(1) ☑ 活動 □ 成果 (2) □ 活動 □ 成果	事業者選定	委員会の関	昇催 一	口	0	0	2	0	0
値	(3)									
	(4) 🗌 活動 🗌 成果									
	成果の達成状況									
	A 目標に向かって順調に推移 B 目標に向かって順調に推移		□ 2 現在	美内容・手法を Eの事業内容		選択の 理 由	平成24年月は達成して		单年度事業。	,事業目的
\vdash	C 判断できない		✓ 3 事務☐ 1 導及	§事業を廃止 ───── 、済	<u>_</u>		<u> </u>			
(参 今	考) ・後のアウトソーシング導入	の可否	□ 4 タスタ□ 2 事業の全てが可能□ 3 事業の一部が可能			選択の 理 由	審査委員全務局として注		員とし、市	職員が事
	- 田 東 中 東京	の七点とし	✓ 4 不可能							
4	担当部長が考える今後の 評価を	の方回性・」を踏まえた課				(参考)	作年度記載	の「評価を路	皆えた課題	と対策」
, 1 2 − 1				元士).12-、.	기/ 클무·국무·기//					
	対24年度で完結した事業で は適性に選定されており、本			受素はない。	当該事業					

### 24 日本の表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表					•	323 3. 21	- H. III	•				
3 日					☐ サーI	ビス事業	□ プロジェクトネ	事業	定型事業	.(財務会計上		
事務事業の概要 担当家長名 類俗 京久 和談教養 政政 政政 政政 対応 政政 対応 政政 対応 政政 対応 対応	会	計	区分(会計名)	を記入)	☑ 一般会訂	┼□ 特別会	計 ()	□企業会計	•()		2340
事務事業の概要			期 実 施 計 画 : 号 / 事 業 番 号 <i>,</i>		2023	1		担当	部課名	福祉部	高齢•福祉	総務課
高齢者医心・方法の皮実 第1割実施計画の事業名 高齢者医心・方法の皮実 事業の対象[強(何を] 65歳以上の市民 事業の計物[後(何を] 65歳以上の市民 事業の目物[2のような結果を得るか] 民生委員・地区福祉委員に市で安否を確認できなかった高齢者の安下確認をしていただ 実施 明朗							<u>:</u>	担当詞	課長名		瀬谷 宗久	
高齢者安百確認事業 高齢者安百確認事業 西齢者更百確認事業 西齢者更中事業 西齢者更中毒素 西齢者更中毒素 西齢者更中毒素 西齢者更中毒素 西齢者更中毒素 西齢者更中毒素 西齢者更中毒素 西齢者更中毒素 西齢者更重素 西齢者更重素 西齢者更重素 西齢者更重素 西齢者更重素 西齢者更重素 西齢者更重素 西齢者更重素 西齢者更素 西藤者更素 西藤者更素 西藤者更素 西藤者更素 西藤者更素 西藤者更素 西藤者更素 西藤者のみの世帯者素素を表 西藤の和東土 西藤者 西藤者のみの世帯者素を表 西藤のかの世帯者素を表 西藤のかの世帯者素を表 西藤のかの世帯者をみの世帯者 西藤者のみの世帯者を力の世帯者素 西藤子のみの世帯者 西藤のかの世帯者 西藤のみの世帯者 西神素 西神素 西藤のみの世帯者 西藤のみの世帯者 西藤者のみの世帯者 西藤者のみの世帯者 西藤者のみの世帯者 西藤者のみの世帯者 西神素 西神素 西藤のみの世帯者 西神素 西神者 田は 田は 田は 田は 田は 田は 田は 田	1 3	事務	事業の概要									
高齢者見守り事業	施策	名			高齢者福祉	止・介護のラ	充実					
事業の対象【雑(何)を】	第1	胡実力	施計画の事業名		高齢者安否	5確認事業	È					
平業の手房【どうする(含せる)ことで】 日本美し・地区部社会員に出る安育雑説、その後の見守り活動へとつなけ、高齢者が安全・安心に暮らせる社会を目指す 安藤期間 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	財務	会計	・上の事業名		高齢者見る	好り事業						
安全	事業	の対	象【誰(何)を】		65歳以上の	の市民						
※振期間 □ ● 機 (平成2年度 ~) □ 時 限 (平成 年度 ~平成 年度) ● 業内容の見直し □ 素 (直近) 平成 年度 □ ・ 東東内容の見直し □ ・ 京の制度 □ ・ 京の制度 □ ・ 市独自の制度 □ ・ 京を観念している ○ ・ 京を見でいる ○ ・ 京を見でいる ○ ・ 京を観念している ○ ・ 京を観念している ○ ・ 京を見でいる ○ ・ 京を観念している ○ ・ 京を見でいる ○ ・ 京を観念している ○ ・ 京を観念している ○ ・ 京を見でいる ○ ・ 京を見でいた ○ ・ 京を観念している ○ ・ 京を見でいた ○ ・ 京を観念している ○ ・ 京を観念している ○ ・ 京を観念している ○ ・ 京を観念している ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	事業	の手	段【どうする(させる	5)ことで】	民生委員・	地区福祉	委員に市で多	で否を確認っ	できなかった	高齢者の多	で否確認をし	ていただく
要集内容の見直し	事業	の目	的【どのような結果	を得るか】				否確認、そ	の後の見守	り活動へと	つなげ、高歯	常者が安
※見蔵し内容を記入 国・府の制度	実施	期間			☑ 継 続	(平成22年	F度 ~)		□ 時 限	(平成	年度~平成	年度)
国・府の制度	事業	内容	の見直し		□実施	(直近)) 平成 年	 度	☑ 未実∶	———— 施		
※根拠上なる法令の条項までを配入 池田市高齢者安否確認に関する条例 23 年度		※見	直し内容を記入									
2 事業コスト・指標値の推移	実施	根拠	<u> </u>		□国・府	の制度	□ 国・府の制	度+市独自	の制度 🔽 ī	 市独自の制度	Ę	
日本の		※根	拠となる法令の条項	までを記入	池田市高歯	命者安否確	認に関する	条例				
日本の	2 1	事業	コスト・指標値の割	維移	•							'
下学 「大学 「大		· /IV			年度	23	年度	24 年度		25 4	年度	Ц99 /г тоо
				(決	算)	(汐	快算)	(決		(予	算)	H23/H22
正職員									338		477	27.1%
# 世紀 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日		人					+					
#常勤職員 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	+		77.2		-	0.15人		0.10人				65.0%
東常勤職員		内		0.10人								
アルバト 0.60人 1,140 0.50人 1,000 0.50人 850 0.10人 170 85.0% 支 出合計 A 3,483 3,446 1,968 1,677 57.1% 回・府支出金 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日		訳			-				-	0.10人		
事 支 出 合 計 A 3,483 3,446 1,968 1,677 57.1% 財 受益者負担 B 源 その他財源 一般財源 3,483 3,446 1,968 1,677 57.1% 支益者負担率 B・A 「大の他財源 3,483 3,446 1,968 1,677 57.1% 支益者負担率 B・A 「大田政源 3,483 3,446 1,968 1,677 57.1% 3,160 3,234 3,600 3,522 73 3,160 3,234 3,600 3,600 3,234 3,600 3,234 3,600 3,234 3,600 3,234 3,600 3,234 3,600 3,234 3,600 3,234 3,600 3,234 3,600				0.60 /		0.50 /		0.50 J	Ů	0 10 Å	-	85.0%
国・府支出金		支		0.0070		0.007		0.00/		0.10/0		
Feet Parison Pari							·		<u> </u>		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	-
一般財源 3,483 3,446 1,968 1,677 57.1% 受益者負担率 B÷A		財	受益者負担 B									-
図 分 内 容 単位 22 年度 23 年度 24 年度 1標値 (実績) (子定) (日26) (子定) (日26) (日26) (子定) (日26) (源	その他財源									-
Yama			70 07 17 07 1		3,483		3,446		1,968		1,677	57.1%
# 位 (実績) (実績) (予定) (H26) (円26) (1) □活動 □成果 安否確認依頼数 人 3,522 73 3,160 3,234 3,600 (2) □活動 □成果 (3) □活動 □成果 (4) □活動 □成果 (4) □活動 □成果 (4) □活動 □成果 (4) □活動 □成果 (5) □ 1 事業内容・手法を改善 □ B 目標に向かって順調に推移している □ 1 事業内容を継続 □ 2 現在の事業内容を継続 □ 3 事務事業を廃止 増え続ける高齢者に対して見守り事業は今後も更なる充実が必要 (参考) □ 2 事業の全てが可能 □ 3 事務事業を廃止 □ 1 導入済 □ 2 事業の全でが可能 □ 3 事業の一部が可能 □ 4 不可能 □ 5 昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策 本市は、大阪府下でも独居高齢者・高齢者のみの世帯が占める割合が多く、今後は見守りホットラインと併用してこれらの方々を見守る体制構築 が占める割合が多く、今後にの対象者の見守り体制の権		受益	 									-
### (実績) (実績) (実績) (予定) (日26) (日26) (1) □活動 □成果 安否確認依頼数 人 3,522 73 3,160 3,234 3,600 (2) □活動 □成果 (4) □活動 □成果 (5) 型 相標に向かて順調に推移しているい □ 1 事業内容を継続 □ 2 現在の事業内容を継続 □ 2 現在の事業内容を継続 □ 3 事務事業を廃止 図 1 導入済 □ 2 事業の全てが可能 □ 3 事業の一部が可能 □ 4 不可能 図 2 事業の全でが可能 図 3 事業の一部が可能 □ 4 不可能 図 4 相当部長が考える今後の方向性・見通し 評価を踏まえた課題と対策 (参考) 昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策 本市は、大阪府下でも独居高齢者・高齢者のみの世帯が占める割合が タく、今後は見守りホットラインと併用してこれらの方々を見守る体制構築 が占める割合が多く、今後にの対象者の見守り体制の権			E //	Д-,		r i v	77 (T-	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	目標値
(1)	1.14		区 分	Ŋ		谷	単位.	(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
(2) □活動 □成果 (3) □活動 □成果 (4) □活動 □成果 (5) □ A 目標に向かって順調に推移していない □ 2 現在の事業内容を継続 □ 3 事務事業を廃止 増え続ける高齢者に対して見守り事業は今後も更なる充実が必要 (参考) □ 2 事業の全てが可能 □ 3 事業の一部が可能 □ 4 不可能 (参考) 平 由 □ 4 不可能 (参考) 昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策 (参考) 昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策 本市は、大阪府下でも独居高齢者・高齢者のみの世帯が占める割合が 多く、今後は見守りホットラインと併用してこれらの方々を見守る体制構築 が占める割合が多く、今後この対象者の見守り体制の権	指標	(1)	□ 活動 ☑ 成果	安	否確認依賴	数	人	3,522	73	3,160	3,234	3,600
3 成果の達成状況 ☑ A 目標に向かって順調に推移している □ B 目標に向かって順調に推移していない □ C 判断できない ② 現在の事業内容を継続 □ C 判断できない ② 1 導入済 □ 2 事業の全てが可能 □ 3 事業の一部が可能 □ 4 不可能 ② 2 現在の事業内容を継続 ③ 3 事務事業を廃止 ② 1 導入済 □ 2 事業の全てが可能 □ 3 事業の一部が可能 □ 4 不可能 3 事業の一部が可能 □ 4 不可能 4 担当部長が考える今後の方向性・見通し 評価を踏まえた課題と対策 本市は、大阪府下でも独居高齢者・高齢者のみの世帯が占める割合が 多く、今後は見守りホットラインと併用してこれらの方々を見守る体制構築 本市は、大阪府下でも独居高齢者・高齢者のみの世帯が占める割合が 多く、今後は見守りホットラインと併用してこれらの方々を見守る体制構築		(2)	□ 活動 □ 成果									
3 成果の達成状況 ☑ A 目標に向かって順調に推移している □ B 目標に向かって順調に推移していない □ C 判断できない ② 2 現在の事業内容を継続 □ 3 事務事業を廃止 ② 1 導入済 □ 2 事業の全てが可能 □ 3 事業の一部が可能 □ 4 不可能 ② 4 担当部長が考える今後の方向性・見通し 評価を踏まえた課題と対策 本市は、大阪府下でも独居高齢者・高齢者のみの世帯が占める割合が 多く、今後は見守りホットラインと併用してこれらの方々を見守る体制構築 ※ は見ったの方のは、 はいのでは、 大阪府下でも独居高齢者・ 高齢者のみの世帯がらいると、 今後この対象者の見守り体制の権がらいると、 今後この対象者の見守り体制の権												
 ☑ A 目標に向かって順調に推移している □ B 目標に向かって順調に推移していない □ C 判断できない □ 2 現在の事業内容を継続 □ 3 事務事業を廃止 図 1 導入済 ○ 今後のアウトソーシング導入の可否 □ 3 事業の一部が可能 □ 4 不可能 図 1 導入済 □ 2 事業の全てが可能 □ 3 事業の一部が可能 □ 4 不可能 図 1 導入済 □ 2 事業の一部が可能 □ 4 不可能 図 1 導入済 □ 2 事業の一部が可能 □ 4 不可能 図 1 導入済 図 2 事業の全でが可能 図 3 事業の一部が可能 図 4 不可能 図 5 事施。 日本市は、大阪府下でも独居高齢者・高齢者のみの世帯が占める割合が多く、今後は見守りホットラインと併用してこれらの方々を見守る体制構築 本市は、大阪府下でも独居高齢者・高齢者のみの世帯が占める割合が多く、今後この対象者の見守り体制の権 												
□ B 目標に向かって順調に推移していない □ C 判断できない □ 2 現在の事業内容を継続 □ C 判断できない □ 3 事務事業を廃止 □ 1 導入済 □ 2 事業の全てが可能 □ 3 事業の一部が可能 □ 4 不可能 □ 5 事価を踏まえた課題と対策 □ 6 表別・昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策 □ 6 本市は、大阪府下でも独居高齢者・高齢者のみの世帯が占める割合が多く、今後は見守りホットラインと併用してこれらの方々を見守る体制構築 い占める割合が多く、今後この対象者の見守り体制の権	=				I			ı	1			
② 1 導入済 □ 2 事業の全てが可能 □ 3 事業の一部が可能 □ 4 不可能 ② 4 相当部長が考える今後の方向性・見通し 評価を踏まえた課題と対策 本市は、大阪府下でも独居高齢者・高齢者のみの世帯が占める割合が 多く、今後は見守りホットラインと併用してこれらの方々を見守る体制構築 ○ 1 導入済 □ 2 事業の全てが可能 □ 3 事業の一部が可能 □ 4 不可能 ○ 3 事業の一部が可能 □ 4 不可能 ○ 3 事業の一部が可能 □ 5 実施。 ○ 4 海の作成、追跡調査は導入不可 ○ 2 参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策 ○ 6 参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策 ○ 6 参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策 ○ 7 本市は、大阪府下でも独居高齢者・高齢者のみの世帯が占める割合が多く、今後にの対象者の見守り体制の権		3 目	標に向かって順調に推		2 現在の事業内容を継続						事業は今	
評価を踏まえた課題と対策 (参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」 本市は、大阪府下でも独居高齢者・高齢者のみの世帯が占める割合が 本市は、大阪府下でも独居高齢者・高齢者のみの世帯 多く、今後は見守りホットラインと併用してこれらの方々を見守る体制構築 が占める割合が多く、今後この対象者の見守り体制の権	(参	考)		の可否	✓ 1 導入 ☐ 2 事業 ☐ 3 事業	済 の全てが可信 の一部が可			実施。			
評価を踏まえた課題と対策 (参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」 本市は、大阪府下でも独居高齢者・高齢者のみの世帯が占める割合が 本市は、大阪府下でも独居高齢者・高齢者のみの世帯 多く、今後は見守りホットラインと併用してこれらの方々を見守る体制構築 が占める割合が多く、今後この対象者の見守り体制の権	4 ‡	担当	部長が考える今後	 後の方向性	<u> </u>							
多く、今後は見守りホットラインと併用してこれらの方々を見守る体制構築 が占める割合が多く、今後この対象者の見守り体制の構								(参考)	作年度記載は	の「評価を路	皆まえた課題	夏と対策」
が必須である。	多く	、今往	後は見守りホットライ]してこれらの方々を見守る体制構築 ス			が占める害	合が多く、4	今後この対象	 ・高齢者の 象者の見守	 みの世帯 が体制の構

				•		• • • • • •	•				
		·年度実施の事務 (25年度評価実施		✓ サ–I	ビス事業	プロジェクト ^፮	事業	定型事業	□投	資的事業	
会	計	区分(会計名:	を記入)	☑ 一般会計	┼ □特	別会計)	□ 企業会計	- ()	財務会計上 の短縮番号	2260
第分		期実施計画:号/事業番号		2023	2		担当部	部課名	福祉部	高齢•福祉	総務課
						:	担当記	課長名		瀬谷 宗久	
		事業の概要									-
施策				高齢者福祉	止・介護の五	[美					
第1	期実	施計画の事業名		街かどデイ	ハウス支援	事業					
財務	会計	上の事業名		街かどデイ	ハウス支援	事業					
事業	の対	象【誰(何)を】		介護保険が	「非該当で、	、引きこもりだ	ぶちな高齢ネ	 者			
事業	(の手	-段【どうする(させる	5)ことで】	コミュニティ	センター等	で、軽体操	、創作活動	などを実施			
事業	の目	的【どのような結果	を得るか】	引きこもり防	ち止による介	↑護予防					
実施	期間]		✓ 継 続	(平成21年	三度 ~)		□ 時 限	(平成	年度~平成	年度)
	,	<u></u> 『の見直し			(直近)	-	·····································			- , , , ,	/
7.7		上直し内容を記入			(PLVL)	1 // +/	~		ne .		
宝妝	根拠	1.		□■□□	の制度	国・府の制	度+市独自	の制度「クラ	 市独自の制度	 F	
		<u>"</u> !拠となる法令の条項	すでを記る					ジリリノス 「「」「	マントロックの	•	
				1四日11111111111111111111111111111111111	こノイバリ	/ 八人]反甲末	大心女神				
2 -	事業	コスト・指標値の推							T		
		区 分	22 ⁴ (決	年度 算)		年度 :算)		年度 :算)	25 ⁴ (予	年度 算)	H23/H22
	事	葉 費(千円)		1,000		1,240		1,240		1,240	100.0%
	人	件 費 (人・千円)	0.14人	812	0.11人	820	0.10人	475	0.10人	475	57.9%
		正職員	0.07人	560	0.10人	800	0.05人	390	0.05人	390	48.8%
事		再任用短時間勤務職員	0.07人	252		0		0		0	_
業	内訳	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	_
コス	H/\	非常勤職員		0		0		0		0	_
<u>ト</u>		アルバイト		0	0.01人	20	0.05人	85	0.05人	85	425.0%
等	支	出合計A		1,812		2,060		1,715		1,715	83.3%
		国•府支出金		500		1,240		1,240		1,240	100.0%
	財	受益者負担 B									_
	源	その他財源									_
		一般財源		1,312		820		475		475	57.9%
	受益	者負担率 B÷A									-
					-		00 /E:##	99 /E III	04 /5 /5	OF /H: HH	口無仕
		区 分	内		容	単位	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	目標値
指	(.)			12 -r + 14			(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
標	(1)	□活動 ☑ 成果		通所者数		人	65	63	64	100	70
値	(2)	□ 活動 ☑ 成果		延利用者数	<u> </u>	人	2,379	2,251	2,184	2,100	2,500
	(3)	☑ 活動 □ 成果		実施回数		回	156	157	156	156	156
	(4)	□ 活動 □ 成果						<u> </u>			
3 J	戊果	の達成状況									_
✓	4 目	標に向かって順調に推	移している	│	内容・手法を	·改善	選択の				
		標に向かって順調に推	移していない	l <u> </u>	の事業内容を	を継続	理由	一般高齢者 	f介護予防力	施策として必	必要
$reve{\Box}$	2 判	断できない		□3 事務	事業を廃止						
				☑ 1 導入	済						
(参	考)	- 1 1		□ 2 事業	の全てが可能	ģ	選択の			施しているN	IPO法人
一分包	後の7	アウトソーシング導力	の可否	I —	の一部が可能	Ė	理由	に対する支	.援事業		
				□ 4 不可	能						
4 ;	担当	部長が考える今後					(/ > - ! +)		o Fart free)	de 1- > 2	- 1 [. <i>Lite</i>
		評価	を踏まえた	た課題と対策			(参考)	作年度記載	の「評価を路	省まれた課題	と対策」
		一般高齢	者介護予防	が施策として	必要		=	一般高齢者	介護予防施	策として必要	更

			—t- Mr.		一份 事 来	一部 1四 1	<u>ソート</u>				
		年度実施の事務 (25年度評価実施		☑ サーI	ビス事業	プロジェクト∄	事業	定型事業	□投	資的事業	
会	計口	区分(会計名		☑一般会計	┼□ 特別会詞	+()	□企業会計	·()	財務会計上 の短縮番号	2156
第分		期 実 施 計 画: 号/事業番号	ii で の / 枝番号	2023			担当	部課名	福祉部	高齢•福祉	:総務課
							担当	課長名		瀬谷 宗久	
		事業の概要									
施策					止・介護の充						
	,	施計画の事業名			トライン設置						
		上の事業名			ライン設置		I Vet the first				
争美	の対	象【誰(何)を】			の高齢者、				***のおも	た年マ 電き	いる却える
事業	ぎの手	段【どうする(させる	5)ことで】	任会的孤立 う。	LU (いると	与えられる!	T氏につい	て、市内事業	長有の筋刀の	ど侍し、電前	西囲報を打
		的【どのような結果	を得るか】	これらの地 る社会を目		ウの構築に	よる孤立死	の防止によ			
	期間			☑継続	(平成24年	度 ~)		□ 時 限	(平成	年度~平成	年度)
事業	内容	の見直し		□実施	(直近)	平成 年	度	☑未実	施		
	※見	直し内容を記入									
実施	起根拠	 <u>L</u>		□国・府	の制度	国・府の制	度十市独自	の制度 ☑ ī	 市独自の制度	 [
	※根	拠となる法令の条項	までを記入	見守りホット	・ライン設置	事業要綱(I	H24.10.1~)			
2 4	事業	コスト・指標値の扌	 隹移								
		区分		年度				年度	25 ⁴		H24/H23
		業費(千円)	(決	算)	(決	算) 	(決	·算) 62	(予	<u>算)</u> 0	
		件 費 (人・千円)	0.00人		0.00人	0	0.10人	570	0.10人	570	
	7.	正職員	0.007	0	0.007		0.05人	390	0.05人	390	_
事	-L-	再任用短時間勤務職員		0		0	0.05人	180	0.05人	180	_
業	内訳	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	_
コス	, , ,	非常勤職員		0		0		0		0	-
卜等	+	アルバ 仆 出合計 A		0		0		632		<u> </u>	
寺		国·府支出金		0		0		032		570	_
	財	受益者負担 B									_
	1	その他財源									_
		一般財源		0		0		632		570	_
	受益	者負担率 B÷A									-
		- A	.1.		<i>₽</i>	ъл г.	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	目標値
مايل مايل		区 分	内		容	単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
指標	(1)	□ 活動 ☑ 成果	電話	舌通報延べ(牛数	人			6	10	10
値	(2)	□ 活動 □ 成果									
	(3)	□活動□成果									
2 -	(4) ♣ ⊞	□□活動□□成果□									
<u> </u>		の達成状況	:段 アハス	1 重要	内容・手法を			1			1
■□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□								高齢化社会			
		断できない		l	事業を廃止		理由	る中、当該	尹耒は写俊 	で サイクカ: 	天が必安
				□ 1 導入	 済			生っていった	*/m ~~~	: / .85)=	- Sart 2.22.
(参		マムしい こってが苦け	いの司不		の全てが可能		選択の			ライバシーに 全ての事業を	
今位	<i>軽())]</i>	アウトソーシング導力	いり台	☑ 3 事業 □ 4 不可	の一部が可能 能	i e	理由		が検討が必		, -
<u> </u>	泊 亚·	如巨が老らて 4~	8の七中4		no		<u> </u>	1			
4 1	中ヨ	部長が考える今後 評価	を踏まえた を踏まえた				(参考)	作年度記載	の「評価を関	当まえた課題	と対策」
* -+	- ا				W-#-28 F-17	フ虫(人立)			ा । । । व्य		
多く	、今後	大阪府下でも独居 後は高齢者安否確 制構築が必須であ	認事業と併ん	m有のみの 用してこれら	世市からめ の社会的引	の副合か 弱者の救済					

				争	か ろうかん かいかい かいかい かいかい かいしゅう かいり かいしゅう かいしゅう いまり はまれる いまり はまま しまま しまま しまま しまま しまま しまま しまま しまま しまま	:評価ン	<i>_</i>				
	24 4	年度実施の事務 25年度評価実力	事 業 施)	✓ サービ	ス事業 🗌	プロジェクト事	薬業 ✓ :	定型事業		设資的事業	
4	会 計	・区分(会計名を	·記入)	□ 一般:	会計 🗸	特別会計	(介護保険)	企業会計	H()	財務会計上 の短縮番号	8934
分		1 期 実 施 計 画 号 / 事業番号 /	画 の ′ 枝番号	2023			担当	部課名	福祉	部 介護保	険課
74	/// Ш	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	NH V	<u> </u>	::		担当	課長名		小松 伸	
		事業の概要		T							
施策				高齢者福祉	Ŀ・介護の充	実					
		に の 事業名		M 标 台 去 4	二江士松市为	¥:					
		·上の事業名 ・象【誰(何)を】		地域日立生	こ活支援事業						
		:段【どうする(させる)	ことで】		三事業所を記	ち問し、サー	ビス利用者	の相談に応	じ、事業者と	とのパイプ名	となり問題
事業	の目	的【どのような結果を	と得るか】	苦情に至る	事態を未然	に防止する 事業所等に	ため、介護	サービス利が改善の途を	用者の日常に探ることを目	 的な不安や 指している	疑問など
実施	期間]			₹ (平成13年		4/2022			年度~平成	
		· 『の見直し		☑ 実施		平成24年月	 变	未実		. , , ,	
		直し内容を記入		相談員の公	()			高齢・福祉総		等)	
実施	根拠	<u>L</u>		□ 国•府	の制度	✓ 国•府	の制度+市	独自の制度	□ 市独	虫自の制度	
	※根	拠となる法令の条項まで	でを記入	池田市介護	美相談員設置	置要綱					
2 7	重 素		 移								
	#木	区分		年度 	23 ^左 (決:		24 年度 (決算)		25 ^在 (予:		H24/H23
	事	業 費(千円)	()(11,135	(0)	10,706		9,625	(1)	1,688	89.9%
	人	件費(人・千円)	0.01	80	0.01	80	0.01	78	0.01	78	100.0%
事	内	正職員 再任用短時間勤務職員	0.01	80	0.01	80	0.01	78 0	0.01	78 0	100.0%
業	NJ NJ	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	_
コス	訳	非常勤職員		0		0		0		0	_
} ***	+	アルバイト		11.015		10.796		0.702		1.700	
等	支	出 合 計 A 国・府支出金		11,215 6,681		10,786 6,423		9,703 5,703		1,766 1,000	90.0% 88.8%
	財	受益者負担 B		0,001		0,120		3,100		1,000	-
	源	その他財源		2,227		2,141		2,021		355	94.4%
	四 八	一般財源 者負担率 B÷A		2,307		2,222		1,979		411	89.1%
_	又勿	·有貝但平 DTA								1	_
1.15		区 分	内		容	単位	22 年度 (実績)	23 年度 (実績)	24 年度 (実績)	25 年度 (予定)	目標値 (H26)
指標	(1)			相談委員数		人	18	19	18	25	25
値	(2)			訪問件数		件	551	821	830	1338	1340
	$\frac{(3)}{(4)}$	□ 活動 □ 成果□ 活動 □ 成果									
3)	` /	<u>」 </u>	ı					I .			
		<u>′ノ乗戍仏んん</u> 標に向かって順調に推和	<u></u> 多している	□ 1 事当	 関内容・手法を			l			
	в Е	標に向かって順調に推れ 断できない		□ 1 事業内容・手法を改善☑ 2 現在の事業内容を継続□ 3 事務事業を廃止			選択の 理 由		を施行の改工 の一層の推進		
	·後の	アウトソーシング導入		□ 3 事業 □ 4 不可	美の全てが可食 美の一部が可食		選択の 理 由	保険者が取	切組む事業		
4 :	担当	部長が考える今後					(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」				
		百 <u>千</u> 1曲~	と暗まえた記	こ課題と対策			(参考)	F 干皮記載	ツ川 評価を路	省まれた課題	と刈束」
				らも、本事業の継続は必要。 であり、引き続き実施してゆく。							